# 保育学部の教育理念と教育課程の特徴

### 保育学部の教育理念

保育学部の教育理念は**<参加><共同><創造>**です。内容は以下の通りです。学生のみなさんはしっかりと自らの課題として受けとめて学んでほしいと思います。

#### 【保育学部の基本理念】

教育・保育学に関する体系的な教育・研究を通して、学生の社会参加と自己実現を支援し、もって人類の 福祉と子どもの最善の利益に貢献しうる高度の専門性を具えた有為な職業人を養成するとともに、社会の要 請に応えつつ教育・保育の社会的な発展に貢献する。

#### 【3つの目標と9つの課題】

- (1) 男女共同参画社会の実現という現代社会の課題に応え、学生の自己実現を支援し、能動的で自己開発 的な学修主体として社会参加の意識の高い能力をもった学生を形成する。<参加>
  - a、授業への積極的な参加を促し、自主的・主体的で、自己開発的な学修主体として学生を形成する。
  - b、学部の責任ある構成員として学部づくりへの積極的な参加を促し、その行動と経験を通して社会参加 の意識と能力を醸成する。
  - c、ボランティア活動、実習、インターンシップ、演習等の授業および授業外の社会参加・体験学修の豊かな機会を保障し、責任ある社会の構成員としての意識と能力を醸成する。
- (2)個人としての責任感と同時に共同の責任感をもって、問題解決と課題実現のために豊かな研究と活動を共同で展開しうる意識と能力をもった学生を形成する。<共同>
  - a、サークル活動等学生の自主的諸活動を積極的に促進し、相互に協力して問題解決と課題実現のために 活動する機会を豊かに実現する。
- b、ゼミなどの活動を通して、学生が個人としてまた相互に協力し、かつ学生と教員とが目標を共有して、 特定のテーマについて研究し、様々な課題に則して活動する経験を豊かに保障する。
- c、社会参加の多面的な機会を通して、責任ある活動のために組織されている協力関係を体験的に学び、 そのような協力関係を取り結ぶ責任ある社会の構成員としての意識や能力を醸成する。
- (3)子どもの発達保障や子どもの最善の利益を実現しうる社会の形成等の責任ある社会的活動に従事しう る想像力と創造力を豊かにもった学生を形成する。<創造>
- a、時代の要請に応え教育・保育学の体系として構造化された保育学部の教育課程を系統的に学ぶことを 通して、学問的な想像力を豊かに涵養し、教育・保育学の創造的な学修主体としての学生の自己確立 を支援する。
- b、学生にとって学修と生活の基盤であり環境である保育学部を「私の大学」としてのアイデンティティ を持ちうるように、学生一人ひとりが責任ある構成員としての意識をもって学部を創造する活動を積 極的に展開し体験する。
- c、社会参加の多面的な機会を通して、教育・保育や子育て支援等の仕事や活動において求められる課題 を理解し解決するために必要な想像力と創造力を体験的に学び、専門職としての創造的な力量を豊か に形成する。

### ○保育学部ディプロマポリシー

学生は、桜花学園大学の基本理念及び保育学部の教育理念「参加・共同・創造」を踏まえ、その実現を 目的とし、「豊かな学びの共同体」として創造する構成員です。

学生は、「学習権」を享受する責任ある主体であり、教育・保育学に関する体系的な教育・研究をもって組織されている保育学部の学びへの能動的な参加を通して、人類の福祉と子どもの最善の利益に貢献しうる高度の専門性を具えた有為な職業人としての社会的な自己実現を達成することが求められ、支援されます。

#### ○保育学科のディプロマポリシー

保育学部保育学科は、教育理念・目標に照らして、学則に定める所定の単位を修得した学生に、「学士 (保育学)」の学位を授与します。総合的な人間学としての教育・保育学は実践の学でもあるので、以 下の理論と実践を統一した力を身につけることを期待します。

(1) 自主的、主体的に学び活動する力(高い学習意欲、永続的な自己開発意欲の形成)を身につけている。

[具体的な目標]

授業(実習、インターンシップ等を含む)への積極的な参加

サークル、委員会、ボランティア活動等の授業外の活動への積極的な参加

学内外の社会参加・体験学習への積極的な参加

(2) 他者と交流・協力し、学びあう力(豊かな人間性と人間理解、豊かなコミュニケーション能力・自己表現能力・共感能力、信頼されうる社会的モラルの形成)を身につけている。

[具体的な目標]

現代社会の求めるコミュニケーション能力を支える知識・技術の修得

ゼミ、サークル、委員会、ボランティア等での責任ある役割の遂行

豊かな人間性と社会的モラルに基礎づけられたことば・態度・行動の実現

(3) 課題を発見・理解し解決しうる力(豊かな教養、専門的な知識・技術、思考力、判断力の形成)を身につけている。

〔具体的な目標〕

卒業研究を含め、卒業に必要な科目を履修し、全体として卒業要件の124単位以上の修得

教育・保育専門職として希望する免許・資格に関わる科目を履修し、必要な単位の修得

教育・保育専門職としての実践的(専門技術的・技能的)能力の多面的な開発

#### ○国際教養こども学科のディプロマポリシー

保育学部国際教養こども学科は、「人類の福祉と世界の子どもの最善の利益に貢献できる高度な専門性を具えた有為な人材を養成する」という保育学部の教育理念のもとで、留学を含めて4年間在学するとともに、学則に定める所定の単位を修得し、以下の力を身につけた学生に、「学士(保育学)」の学位を授与します。

- (1) 共通教育科目・専門教育科目の学修を通して、教育・保育に関する専門的知識・技能を修得し、国際社会で活躍するために必要な幅広い視野と知識と教養を身につけている。
- (2) 日本と海外の保育を学修して 2 ヵ国の保育士資格取得を目指すとともに、各国の保育の比較を通して自らのより望ましい保育のあり方について考察することができる。
- (3) 国内外での実習と卒業研究に取り組むことで、課題を見出し解決する力と論理的思考力を身につけている。
- (4) 多文化共生社会に生きる子どもと保護者の支援を行うのに必要な異文化受容能力を身につけている。
- (5) グローバル時代に対応できる日本語及び英語を中心とする外国語による高いコミュニケーション能力を持っている。

#### 〇保育学部のカリキュラムポリシー

保育学部の教育課程は、教育・保育の課題を乳幼児期から児童期の子どもの発達理解と発達環境の諸側面の課題をふまえ、総合的・構造的に、理論と実践を結びつけて探求できるように編成するとともに、保育学科においては、幼稚園教諭一種免許・保育士資格・小学校教諭一種免許・特別支援学校教諭免許、保育学部国際教養こども学科においては、幼稚園教諭一種免許、保育士資格、Certificate III in Early Childhood Education and Care (オーストラリアのアシスタント保育士資格)の取得に必要な科目を希望するすべての学生が履修できるように編成しています。

### 〇保育学科のカリキュラムポリシー

保育学部保育学科は、1年から4年までゼミと実習を系統的に配置しています。ゼミ(1年:基礎演習、2年:総合演習 I、3年:総合演習 I、4年:卒業研究)を学生の個別指導の基礎単位とし、チュートリアルシステムの基盤であるとともに、保育学部教育への学生参加の基盤でもあります。実習は、取得を希望する免許・資格に対応して、幼稚園・保育所(幼保連携型認定こども園を含む)、小学校、特別支援学校等で段階的に実施されています。学生は、保育学部保育学科の教育課程の系統的な学修を通して、教育・保育専門職として求められる高度な専門職としての力量の基礎を総合的に培うとともに、現代社会の有能な担い手として社会に貢献しうる人材として自らを開発することが可能となっています。

#### 〇国際教養こども学科のカリキュラムポリシー

保育学部国際教養こども学科は1年から4年までゼミと実習を系統的に配置しています。ゼミ(1年:基礎演習、2年:総合演習、4年:卒業研究)は、4年間を通じての学生の大学における学修の基盤であるが、学生に対する個別指導の基礎単位として保育学部のチュートリアルシステムの基盤であるとともに、保育学部における教育への参加学生の基盤でもあります。実習は、取得を希望する免許・資格に対応して、幼稚園、保育所、施設、オーストラリアの保育施設等で段階的に実施されています。学生は、本学科の教育課程の系統的な学修を通して、教育・保育専門職として求められる高度な専門職としての力量の基礎を総合的に培うとともに、現代社会の有能な担い手、且つ、社会に貢献しうる人材として自らを開発することが可能となっています。

# 保育学部保育学科教育課程表(2022年度入学者)

IZ.	分		授業科目	科目ナンバー	単位	形態	卒必	選択	小・幼 資格を	j・保の ·取得す	免許・ る場合	1	年	2	年	9	8年	4	年
	ガ		<b>汉耒</b> 代日	付日ナンハー	平位.	形態	华必	迭代	小	幼	保	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後
	教	自分	現代社会と女性	0K11L0001	2	講義		必遍				0							
	差	を知	女性とジェンダー	0K11L0002	2	講義		必修2			$\triangle$	0							
	養	る・	女性と家庭教育	0K11L0003	2	講義						0							
	科	人間	芸術の世界文学の世界	OK11L0101	2	講義		選択				0							
	751	を	文   学   の   世   界     心   の   探   求	OK11L0102 OK11L0103	2	講義講義		必修				0							
	目	知る	生き方の探求	0K11L0104	2	講義		2				0							
		社	生 活 と 経 済	0K12L0201	2	講義		選択					0						
	$\overline{}$	会 る を	地 域 社 会	0K12L0202	2	講義		必					0						
		知	人 間 と 歴 史	0K12L0203	2	講義		修 2					0						
	桜	世界	異文 化 理解	0K12L0301	2	講義		選択					0						
		を	日本の文化国際関係論	0K12L0302 0K12L0303	2	講義講義		必					0						
	花	知る	グローバル社会と宗教	0K12L0303	2	講義		修 2					0						
	244	自	環境の科学	0K21L0401	2	講義								0					
	学	然を	食と生命の科学	0K21L0402	2	講義		必修 2						0					
	)	知る	生き物の社会	0K21L0403	2	講義		2 が						0					
		ツ健	スポーツ健康論	0K12K1001	2	講義		選	0	0	0		0						
		康						択											
		関スポ	スポーツ I	OK22K1001	1	実技		必 修	Δ	$\triangle$	Δ				0				
		ボ 係 <sup> </sup>	スポーツⅡ	OK22K1002	1	実技		1							0				
		ラ数量	統計学	0K21K1101	2	講義		選							0				
		シス	社会調査法	OK22K1101	2	講義		· 択 必							0				
		キ   ル	情報社会論	OK22K1102	2	講義		· 修 2						0					
		情	コンピュータ I	OK11K1101	1	演習	1		0	0	0	0							
		関報									_								
		係テ	コンピュータⅡ	OK12K1101	1	演習	1		0	0	0		0						
全学共通			NGO・NPO論 現代社会と企業	OK31K1201 OK31K1202	2	講義										0			
		社会	地域協力演習	0K31K1202 0K31K1203	2	講義										0			
		貢	インターンシップ(国内)A	0K21K1201	1	演習		\pp.						0	0	0	0	0	
		献•	インターンシップ (国内) B	0K21K1202	2	演習		選択						0	0	0	0	0	
重		職業	インターンシップ (海外) A※	OK12K12O1	1	演習		必修				0	0	0	0	0	0	0	
〕 〕		体験	インターンシップ (海外) B% インターンシップ (海外) C%	OK12K1202 OK12K1203	3	演習 演習		2					0	0	0	0	0	0	
-		関	インターンシップ (海外) D※	0K12K1203	4	演習							0	0	0	0	0	0	
		係	ボランティア (海外)	OK12K12O5	2	実技							0	0	0	0	0	0	
			海外英語資格実習	0K21K1203	2	実技								0	0	0	0	0	
	基础	グロ	総合英語 I 総合英語 II	0K11K1301	1	演習	1		0	0	0	0	0						
	礎科	1	総合英語Ⅲ 総合英語Ⅲ	OK12K1301 OK21K1301	1	演習 演習	1	1	0	0	0			0					
	目	バル	総合英語IV	0K22K1301	1	演習		1							0				
		化	英語コミュニケーションI	OK31K1301	1	演習		1								0			
		に	英語コミュニケーションⅡ	OK32K1301	1	演習		1									0		
		対応	英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ	0K41K1301 0K42K1301	1	演習 演習		1										0	
		l	ポルトガル語と文化I	0K42K1301 0K11K1302	1	演習		1				0		<u> </u>					
		たコ	ポルトガル語と文化Ⅱ	OK12K1302	1	演習		]					0						İ
		1 11/	スペイン語と文化Ⅰ	OK11K1303	1	演習		-				0							
		ユ	スペイン語と文化 II フランス語と文化 I	OK12K1303 OK11K1304	1	演習 演習		1	<u> </u>			0	0	-				-	
		ニケ	フランス語と文化 I	0K11K1304 0K12K1304	1	演習		言語				0	0						
		ĺ	中国語と文化Ⅰ	0K11K1305	1	演習		2				0							
		ショ	中国語と文化Ⅱ	OK12K1305	1	演習		単位					0						
		ン	中国語と文化Ⅲ	0K21K1302	1	演習		以	_					0				1	
		ス	中国語と文化IV 韓国語と文化 I	OK22K1302 OK11K1306	1	演習 演習		上	-			0		<del>                                     </del>	0				$\vdash$
		キル	韓国語と文化Ⅱ	OK12K1306	1	演習							0						L
		関	韓国語と文化Ⅲ	0K21K1303	1	演習								0					
		係総	韓国語と文化IV 日本国憲法	0K22K1303 0K22K1401	1 2	演習講義		2	0	0				-	0			-	
		TVČ	海外研修A	0K22K1401 0K21K1401	2	選 実習		2						0	0	0	0	0	
			海外研修B	0K21K1402	4	実習		4						0	0	0	0	0	
		$\triangle$	基礎演習I	0K11K1401	1	演習	1				0	0							
		<u>合</u> /エ	基礎演習Ⅱ ①他学部履修科目	OK12K1401	1	演習	1		1		0		0						$\vdash$
	科目	ンクステンテ	②大学間連携科目 ③愛知学長懇話会科目 ④資格認定	0K00K2001	6			6											

# 保育学部保育学科教育課程表(2022年度入学者)

区分		授業科目	科目ナンバー	単位	形態	卒必	選択		サる場	合			年		年		年		年
		kt da ser en		_				小	特支			前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後
	教育	教育原理	0H12S0001	2	講義	2		0		0	0		0						$\perp$
		保育原理	0H12S0002	2	講義	2					0	0							+
	保育	子ども家庭福祉 I 子ども家庭福祉 II	OH12S0003 OH21S0001	2	講義講義	Z	1				0		0	0					+
	20	社会福祉	0H11S0001	2	講義	2	1				0	0							t
	科西	子ども家庭支援論	0H22S0001	2	講義	2					0				0				t
	н.	社会的養護I	0H21S0002	2	講義	2					0			0					t
	目的	社会的養護Ⅱ	OH22S0002	1	演習		1				0				0				Ī
	に	保育者論	OH11S0002	2	講義	2				0	0	0							1
	関す		0H21S0003	2	講義	2		0			_			0					+
	教		0H41S0001 0H11S0101	2 2	講義講義	2				0	Δ	0						0	t
	育		OH32S0101	2	講義		2				0						0		t
	関保	子ども理解の理論と方法	OH21S0101	2	演習	2				0	0			0					Ī
	す育	教育心理学	OH31S0101	2	講義	2		0		0	Δ					0			1
	るの科対	特別支援基礎論	0H21S0102	1	講義	1	1	0		0	1			0					+
	目象-	保幼小連携基礎論 保幼小連携総論	OH11S0102 OH41S0101	1	講義講義	1				Δ	Δ	0						0	+
	理具解	教育・保育学特講 I	0H32S0102	1	講義	1	1				1						0		t
	iz	教育・保育学特講 II	OH41S0102	1	講義		1											0	İ
	-	教育課程論	0H22S0201	2	講義	2		0							0				Į
		保育カリキュラム論	0H32S0201	2	講義	2				0	0						0		+
	-	保育内容総論 保育内容指導法(健康)	OH11S0201 OH32S0202	2	演習	2				0	0	0					0		+
	-	保育内容指導法(人間関係)	0H22S0202	2	演習	2				0	0				0				t
		保育内容指導法(環境)	OH12S0201	2	演習	2				0	0		0						İ
		保育内容指導法(言葉)	OH12S0202	2	演習	2				0	0		0						1
	-	保育内容指導法(表現)	0H22S0203	2	演習	2				0	0				0				1
			0H22S0204 0H32S0203	2	講義講義		2	0							0		0		+
		算数科教育法	0H22S0205	2	講義		2	0							0				t
		理科教育法	0H32S0204	2	講義		2	Ō							Ť		0		t
		生活科教育法	0H22S0206	2	講義	2		0							0				I
	-	音楽科教育法	0H42S0201	2	講義		2	0											1
			0H22S0207 0H42S0202	2	講義講義		2	0							0				Ŧ
	-	本育科教育法	0H32S0202	2	講義		2	0									0		t
		英語科教育法	OH42S0203	2	講義		2	0											t
		道徳教育の指導法	OH21S0201	2	講義	2		0						0					I
	-	特別活動・総合的な学習の時間の指導法	0H41S0201	2	講義		2	0										0	1
	-	生徒・進路指導論 教育の方法	0H42S0204 0H21S0202	2	講義講義	2	2	0		0				0					+
	-	ICT活用の理論と方法	0H21S0202	1	講義		1	Ö						0					†
専	教	幼児と健康	OH31S0201	1	演習		1			0	0					0			Ī
攻	育	幼児と人間関係	0H21S0204	1	演習		1			0	0			0					1
	保	幼児と環境	0H11S0202	1	演習		1			0	0	0							+
教	育	<u>幼児と言葉</u> 幼児と表現	0H11S0203 0H21S0205	1	演習		1			0	0	0		0					$^{+}$
育	の	国語	0H21S0206	1	講義		1	0						0					t
	内容	社会	OH31S0202	1	講義		1	0								0			İ
科	容・	算数	OH21S0207	1	講義		1	0						0					
	方	理科	OH31S0203	1	講義		1	0								0			
"	法	生活	0H21S0208	1	講義	1		0						0					1
	に関	音楽 図画工作	0H41S0202 0H21S0209	1	演習		1	0						0				0	$\downarrow$
	す	家庭	0H21S0209 0H41S0203	1	演習		1	0						0				0	+
	る	体育	0H31S0204	1	演習		1	0								0			t
	科目	英語	OH41S0204	1	演習		1	0										0	I
		幼児音楽 I A	0H11S0204	2	演習		2			Δ	Δ	0							1
	-		OH12S0203 OH31S0205	2	演習 演習		2			Δ	Δ		0			0			+
	-	幼児音楽Ⅱ B	0H32S0206	1	演習		1									0	0		†
		幼児造形 I	OH12S0204	1	演習		1			Δ	Δ		0						t
		幼児造形Ⅱ	OH32S0207	1	演習		1										0		I
		幼児体育I	0H11S0205	1	演習		1			$\triangle$	Δ	0							1
	-		0H31S0206 0H21S0210	1 2	演習 演習		1 2			^	^					0			$\downarrow$
			0H21S0210 0H31S0207	2	講義	2				Δ	Δ		-	0	-	0	-		+
		子どもの健康と安全	0H32S0208	1	演習		1				0						0		†
		子どもの食と栄養 I	0H31S0208	2	演習	2					0					0			1
		子どもの食と栄養Ⅱ	0H32S0209	2	演習		2				)						0		Į
		障害児保育	0H32S0210	2	講義	0	2	1		1	0		-	-			0		+
			0H22S0208 0H31S0209	2	講義演習	2	1				0				0	0			+
		乳児保育Ⅲ	0H41S0205	1	演習		1	l			Δ							0	†
		教育相談A	0H42S0205	1	講義	1		0		0									İ
		教育相談B	0H42S0206	1	講義		1	0											Į
		子育て支援	0H41S0206	1	演習	1	-	1		-	0		-	1			-	0	+
		医療保育 I	0H22S0209	1	講義	1	1	1					-	1	0	0	-		+
		<ul><li>医療保育Ⅱ</li><li>多文化共生保育・教育論</li></ul>	0H31S0210	1	演習講義	1	1	1	-	1	1			0	-	$\cup$	-	-	4

区分		授業科目	科目ナンバー	単位	形熊	卒必	選択	小・幼	<ul><li>保の免許する場</li></ul>	・資格 合	を取得	1	年	2	年	3	年	4	年
区分		<b>坟耒</b> 村日	作日ナンバー	平1年	形態	平业	迭扒	小	特支	幼	保	前期	後期		後期	前期	後期	前期	後
		特別支援教育論	0H22S0301	2	講義	2			0						0				
		知的障害児の心理・生理・病理	0H31S0301	2	講義		2		0							0			
	特	肢体不自由児の心理・生理・病理	0H31S0302	2	講義		2		0							0			
	別	病弱児の心理・生理・病理	0H31S0303	2	講義		2		0							0			T
		知的障害教育論 I	0H32S0301	2	講義		2		0								0		
	接	知的障害教育論Ⅱ	0H41S0301	2	講義		2		0									0	
		肢体不自由教育論 I	0H32S0302	2	講義		2		0								0		
		肢体不自由教育論 Ⅱ	0H42S0301	2	講義		2		0										
		病弱教育論	0H32S0303	2	講義		2		0								0		
		視覚障害児の心理・生理・病理	0H31S0304	1	講義		1		0							0			
	-	聴覚障害児の心理・生理・病理	0H42S0302	1	講義		1		0										- 1
		発達障害の理解	0H41S0302	1	講義		1		0									0	
	III	視覚障害教育論	0H31S0305	1	講義		1		0							0			
		聴覚障害教育論	0H42S0303	1	講義		1		0										
		重複障害等教育論	0H41S0303	1	講義		1		0									0	
•		教育実習 I	0H12S1001	1	実習		1			0			0						
	支援教育に関する科	教育実習Ⅱ	0H22S1001	1	実習		1	0							0				
		教育実習Ⅲ	0H32S1001	3	実習		3			0							0		
		教育実習Ⅳ	0H41S1001	3	実習		3	0										0	
		教育実習V	0H42S1001	2	実習		2		0										
		教育実習指導 I	OH11S1001	1	演習		1			0		0							
		教育実習指導Ⅱ	OH22S1002	1	演習		1	0							0				T
		教育実習指導Ⅲ	OH32S1002	1	演習		1			0							0		
		教育実習指導IV	0H41S1002	1	演習		1	0										0	
		教育実習指導V	0H41S1003	1	演習		1		0									0	
颗		教職実践演習(幼・小)	0H42S1002	2	演習		2	0		0									-
子羽		保育実習 I (保育所)	OH31S1001	2	実習		2				0					0			Т
1		保育実習 I (施設)	0H22S1003	2	実習		2				0				0				
日		保育実習Ⅱ	0H41S1004	2	実習		2				$\triangle$							0	П
Н		保育実習Ⅲ	0H41S1005	2	実習		2				$\triangle$							0	T
		保育実習指導 I (保育所)	0H31S1002	1	演習		1				0					0			П
		保育実習指導 I (施設)	0H22S1004	1	演習		1				0				0				
		保育実習指導Ⅱ	0H41S1006	1	演習		1				Δ							0	Т
		保育実習指導Ⅲ	0H41S1007	1	演習		1				Δ							0	
		保育実践演習	0H42S1003	2	演習		2				0								
		学校インターンシップ指導	OH31S1003	1	演習		1	Δ								0			
		学校インターンシップ	0H32S1003	1	実習		1	Δ									0		
		海外幼児教育インターンシップ	OH12S1002	2	実習		2						0						
¥	総	総合演習IA	OH21S2001	1	演習	1								0					
研究科目	<b>合</b>	総合演習 I B	0H22S2001	1	演習	1									0				
研育	内	総合演習ⅡA	OH31S2001	1	演習	1										0			T
光力	な	総合演習ⅡB	0H32S2001	1	演習	1											0		T
科音	学	卒業研究演習 I	0H41S2001	1	演習	1												0	
甲值	<b>修</b>	卒業研究演習Ⅱ	0H42S2001	1	演習	1													
		卒業研究	0H42S2002	2	演習	2													(

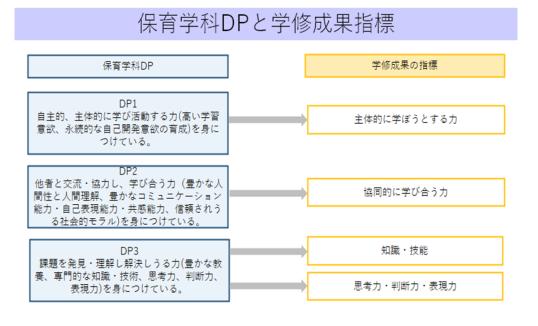
# 保育学部 国際教養こども学科 教育課程表(2022年度入学者)

区	$\triangle$		授業科目	科目ナンバー	単位	形態	卒必	選択	小・幼 資格を	り・保の: 取得す	免許・ る場合	1	年	2	年	3	年	4	年
	TT		<b>授耒</b> 代日	件目ナンハー	甲亚	形態	华业	迭扒	小	幼	保	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後
	教	自分	現代社会と女性女性とジェンダー	0K11L0001	2	講義		必選				0							
	養	を知り	女性とジェンダー       女性と家庭教育	0K11L0002 0K11L0003	2	講義講義		必選 2			0	0							
	R	る人	芸術の世界	0K11L0101	2	講義		選				0							
	科	間	文学の世界	OK11L0101	2	講義		択				0							
		を知	心 の 探 求	OK11L0103	2	講義		必修				0							
	目	る	生き方の探求	OK11L0104	2	講義		2				0							
		社。会	生 活 と 経 済	OK12L0201	2	講義		選択					0						
	$\overline{}$	るを	地域社会	0K12L0202	2	講義		必修					0						
		知世	人間と歴史異文化理解	OK12L0203	2	講義		2					0						
	桜	界	日本の文化	OK12L0301 OK12L0302	2	講義講義		選択					0						
		を 知	国際関係論	0K12L0303	2	講義		必修					0						
	花	る	グローバル社会と宗教	OK12L0304	2	講義		2					0						
		自然	環 境 の 科 学	0K21L0401	2	講義								0					
	学	然を	食と生命の科学	0K21L0402	2	講義		必修 2						0					
		知						2 択											
	)	3	生き物の社会	0K21L0403	2	講義								0					
		ツ健康	スポーツ健康論	OK12K1001	2	講義		選 択	0	0	0		0						
		関っ ス	ス ポ ー ツ I	OK22K1001	1	実技		必							0				
		ポー	ス ポ ー ツ Ⅱ	OK22K1002	1	実技		· 修 1	$\triangle$						0				
		係   リ数						選											
		テ量的		OK41K1101	2	講義		択										0	
		ラス	社 会 調 査 法	OK42K1101	2	講義		必修											(
		シキ	情報 社会論	OK42K1102	2	講義		2							$\circ$				(
		' 関情	コンピュータI	OK11K1101	1	演習	1		0	0	0	0							
		<sup>(~</sup> 情 係報	コンピュータⅡ	OK12K1101	1	演習	1		0	0	0		0						
			NGO · NPO 論	OK41K1401	2	講義												0	
		社	現代社会と企業	0K41K1402	2	講義		-										0	
共		会貢	地域協力演習インターンシップ (国内) A	0K41K1403 0K21K1201	2	演習 演習		552						0	0			0	
通 教		献	インターンシップ (国内) A インターンシップ (国内) B	0K21K1201 0K21K1202	2	演習		選択										0	(
教 育		職	インターンシップ(海外) A※	OK12K1201	1	演習		必修						0	0			0	
科		業体	インターンシップ(海外) B※	OK12K12O2	2	演習		2						0	0			0	(
目		験関	インターンシップ (海外) C※	0K12K1203	3	演習		-						0	0			0	(
		係	インターンシップ(海外) D※ ボ ラ ン テ ィ ア ( 海 外 )	OK12K1204 OK12K1205	4	演習 実習		-					0	0	0			0	(
			海外英語資格実習	0K12K1203	2	実習								0	0			0	
	++-	グ	総 合 英 語 I	OK11K1301	1	演習	1		0	0	0	0							
	基礎	口 l	総 合 英 語 Ⅱ	OK12K1301	1	演習	1		0	0	0		0						
	科	バ	総 合 英 語 Ⅲ	0K21K1301	1	演習	1							0					
	目	ル	総   合   英   語   IV     英語コミュニケーション I	OK22K1301 OK41K1301	1	演習	1	1							0			0	
		化に	英語コミュニケーションⅡ	0K42K1301	1	演習		1											(
		対	英語コミュニケーションⅢ	OK41K1303	1	演習		1										0	
		応	英語コミュニケーションIV	OK42K1304	1	演習		1											(
		した	ポルトガル語と文化Ⅰ	0K11K1302	1	演習						0							
		コ	ポルトガル語と文化 I スペイン語と文化 I	OK12K1302 OK11K1303	1	演習 演習						0	0						
		11 1	スペイン語と文化Ⅱ	OK11K1303	1	演習							0						
		=	フランス語と文化Ⅰ	OK11K1304	1	演習		l 言				0							
		ケ	フランス語と文化Ⅱ	OK12K1304	1	演習		語					0						
		シ	中国語と文化Ⅰ	0K11K1305	1	演習		2 単				0							
		3	中 国 語 と 文 化 Ⅱ 中 国 語 と 文 化 Ⅲ	OK12K1305 OK21K1302	1	演習 演習		位					0	0					
		ンフ	中国語と文化 IV	0K21K1302 0K22K1302	1	演習		以上						)	0				
		スキ	韓 国 語 と 文 化 I	OK11K1306	1	演習		<del> </del>				0							
		ル	韓国語と文化Ⅱ	0K12K1306	1	演習							0						
		関係	韓 国 語 と 文 化 Ⅲ 韓 国 語 と 文 化 Ⅳ	0K21K1303 0K22K1303	1	演習 演習								0	0				
		総総	日本国憲法	0K22K1303 0K22K1401	2	講義		2	0	0					0				
		. =	海 外 研 修 A	OK21K1401	2	実習		2	Ĺ	Ď				0	0			0	(
			海外研修B	OK21K1402	4	実習		4						0	0			0	(
		۵	基     礎     演     習     I       基     礎     演     習     II	0K11K1401	1	演習	1				0	0	0						
	<u>ا</u> ک	<u>合</u> /エ	巫 促 侇 笞 Ⅱ	OK12K1401	1	演習	1												
	科シ	ンク	①他学部履修科目		6			6											
ı	, .	ョス	②愛知学長懇話会科目 等																

# 保育学部 国際教養こども学科 教育課程表(2022年度入学者)

NK 13	1 111	国際教養こども学科 教育課程表(2022年	Δ/ <b>(</b> ) μ/														
区分		授業科目	科目ナンバー	単位	形態	卒必	選択	幼・保の生を取得る	免許・資格 する場合	1	年	2	年	3	年	4	年
L-73		DATE:		7-124	712 723	1.2	~= "	幼	保	前	後	前	後	前	後	前	後
		保 育 原 理		2	講義	2			0	0	0						<del> </del>
		教育原理		2	講義	2		0	0		0						
		子     ど     も     家     庭     福     祉       社     会     福     祉	0K12S0003 0K11S0004	2	講義	2			0	0	0						
		子 ど も 家 庭 支 援 論	0K22S0005	2	講義	2			0				0				
		社 会 的 養 護 I	0K21S0006	2	講義		2		0			0					
		社 会 的 養 護 Ⅱ	0K22S0007	1	演習		1		0				0				
		保 育 者 論	0K12S0008	2	講義	2		0	0		0						
		教 育 制 度	0K41S0009	2	講義	2		0	Δ							0	
		発 達 心 理 学	0K11S0010	2	講義	2		0	0	0							<u> </u>
		子ども家庭支援の心理学	0K22S0011	2	講義	2			0				0				<b>-</b>
		子ども理解の理論と方法	0K21S0012	2	演習	2		0	0			0					<b>-</b>
		教育 心 理 学	0K42S0013	2	講義	2	1	0	Δ							0	
		特別     支援     基礎     論       保育カリキュラム     論	0K21S0014 0K42S0015	2	講義	2	1	0	Δ			0					0
		保育内容総論	0K11S0016	2	演習	2		0	0	0							
		保育内容指導法(健康)	0K22S0101	2	演習	2		0	0				0				
		保育内容指導法(人間関係)	0K22S0102	2	演習	2		0	0				0				
		保育内容指導法(環境)	0K12S0103	2	演習	2		0	0		0						
	,-	保育内容指導法(言葉)	0K12S0104	2	演習	2		0	0		0						
	ど	保育内容指導法(表現)	0K22S0105	2	演習	2		0	0				0				
	t	教 育 の 方 法	0K21S0017	2	講義	2		0				0					<u> </u>
	ども教育	幼 児 と 健 康	0K21S0201	1	演習		1	0	0			0					
	科	幼児と人間関係		1	演習		1	0	0			0					
	目	幼     児     と     環     境       幼     児     と     言     葉	0K11S0003 0K11S0004	1	演習		1	0	0	0							
		幼     児     と     言     葉       幼     児     と     表     現	0K11S0004 0K21S0005	1	演習		1	0	0			0					
		が	0K21S0005 0K11S0006	1	演習		1	Δ	Δ	0							
		カ 児 音 楽 B		1	演習		1	Δ	Δ	Ť	0						 
		が 児 音 楽 C	0K21S0011	1	演習		1				-	0					
		幼 児 音 楽 D	0K22S0012	1	演習		1		L				0				L
		幼 児 造 形 A	0K11S0008	1	演習		1	Δ	Δ	0							
		幼 児 造 形 B	0K12S0008	1	演習		1	Δ	Δ		0						
		幼 児 体 育 A	0K11S0009	1	演習		1	Δ	Δ	0							
		幼 児 体 育 B	0K12S0010	1	演習		1	Δ	Δ		0						
専		児 童 文 化	0K411S011	2	演習		2	Δ	0							0	<b>—</b>
,		子どもの保健	0K21S0018	2	講義		2		0			0					
пп		子どもの健康と安全子どもの食と栄養	0K22S0019	1 2	演習		1 2		0			0	0				
門		子 ど も の 食 と 栄 養障       害 児 保 育	0K21S0020 0K22S0021	2	演習		2		0				0				
		乳     児     保     育     I	0K22S0021	2	講義		2		0				0				i
教		乳 児 保 育 <b>II</b>		1	演習		1		0							0	
		教 育 相 談	0K42S0024	1	講義		1	0									0
育		子 育 て 支 援	0K41S0025	1	演習	1			0							0	
' '		海 外 の 保 育	0K21S0301	2	講義		2		0			0					
<b>1</b> 11		多 文 化 共 生 研 究	0K11S1001	2	講義	2		$\triangle$		0							
科		地 域 研 究 I	0K22S1002	2	講義	2	-						0				<b>-</b>
		地域研究Ⅱ	0K11S1003	2	講義		以上選択			0							<del></del>
目		地     域     研     究     Ⅲ       地     域     研     究     IV	0K21S1004	2 2	講義		選か					0					
		地         域         研         究         IV           地         域         研         究         V	0K21S1005 0K22S1006	2	講義		択2					0	0				
		地 域 研 究 VI		2	講義		択必修ら2単位					0					
	医際	ことばのメカニズム	0K41S1101	2	講義	2	1									0	
	教	Teaching English for Children	0K11S1201	2	講義		2			0							
	養	チームビルディング実践	0K21S1102	2	講義		2					0					
	科目	Study Abroad Preparation	0K22S1301	1	演習	1							0				
	П	Basic Communication in English I	0K11S1103	1	演習	1				0							
		Basic Communication in English II		1	演習	1			-		0	_					
		Intermediate Communication in English I	0K21S1105	1	演習	1			-			0	0				
		Intermediate Communication in English II 海 外 語 学 研 修	0K22S1106 0K33S1302	1 5	演習	5								0	0		
		海外保育留学		10	実習	10								0	0		
		国際教養総論	0K41S1304	2	演習	2										0	
		教 育 実 習 入 門		1	実習	1		0			0						
		教 育 実 習 I	0K22S2003	2	実習		2	0					0				
		教 育 実 習 Ⅱ	0K42S2005	2	実習		2	0									0
		教 育 実 習 指 導 I	0K21S2002	1	講義		1	0				0					_
		教 育 実 習 指 導 Ⅱ	0K41S2004	1	講義		1	0								0	<b>—</b>
		教職実践演習(幼)	0K42S2006	2	演習		2	0	_								0
	実	保育実践演習	0K41S2109	2	演習		2		0							0	
	習科	保育実習I (保育所)       保育実習I (施設)	0K32S2102 0K32S2104	2 2	実習実習		2		0						0		
		保 育 実 習 II	0K32S2104 0K41S2106	2	実習		2		Δ							0	<u> </u>
	目	保 育 実 習 III	0K41S2108	2	実習		2		Δ							0	
		保育実習指導Ⅰ(保育所)	0K32S2101	1	演習		1		0						0	-	
		保育実習指導 I (施設)	0K32S2103	1	演習		1		0						0		
		保育 実習 指 導 II		1	演習		1		Δ					<u> </u>		0	
		保 育 実 習 指 導 Ⅲ	0K41S2107	1	演習		1		Δ							0	
		海外保育フィールド・スタディ		2	実習	2				0							
		海外幼児教育インターンシップ		2	実習		2				0						<b>—</b>
	演	総 合 演 習 A		1	演習	1						0	_				<b>—</b>
	習	総合演習B	0K22S3002	1	演習	1							0				
	什	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	0K41S3101	1	演習	1										0	0
	目	卒     業     研     究     演     習     II       卒     業     研     究	0K42S3102 0K42S3103	2	演習	2			<del>                                     </del>								0
		_ ^ W 7	0.1.1000100		ix H		L		1			I		l	L		$\overline{}$

# ディプロマポリシー (DP) に基づく学修指標とルーブリック、カリキュラムマップ ディプロマポリシー (DP) に基づく学修指標とルーブリック 〇保育学科



### 専門教育科目共通

	保育学科の専門教育科目ルーブリック												
DPに基 づく学修 指標	学修目標の説明	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1							
主体的に 学ぼうと する力	教育・保育の専門的知識・技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身につめずを身につめて、最初を記し、学修の進め方について、試行錯誤するなど、自の学ぼうとする力を身につけている。	教育・保育の専門的知識・技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身につけるために、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤を続けている。	教育・保育の専門的知識・技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身につけるために、自らの学修が、派を把握し、学修の進め方について試行錯誤を続けようとしている。	教育・保育の専門的知識・技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身につけるために、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤をしようとしている。	教育・保育の専門的知識・技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身につけるために、自らの学修が派を地握し、学修の進め方について試行錯誤をしようとすることに消極的である。	教育・保育の専門的知識・技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身につけけるために、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤するなどの、自ら学ぼうとする力を身につけていない。							
協同的に学び合う力	教育・保育の専門的知識・技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身につけるために、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせていくことができる力を身につけている。	教育・保育の専門的知識・技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身につけるために、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせて学び合いを続けている。	教育・保育の専門的知識・技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身につけるために、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせて学び合いを続けようとしている。	教育・保育の専門的知識・技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身につけるために、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせて学び合っている。	教育・保育の専門的知識・技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身につけるために、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせて学び合うことに消極的である。	教育・保育の専門的知識・技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身につけるために、集団内での関・を要任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合かせていくなどの学び合う力を見つけていない。							
知識・技 能	教育・保育の専門職と して求められる高度な 知識や技能を備え、科 目間の関連性を理解し ている。	教育・保育の高度な知 識や技能を習得し、科 目間の関連性を理解し ている。		与えられた事象に対す る教育・保育の知識や 技能を習得している。	教育・保育に関し、一 定の知識や技能の習得 している。	教育・保育に関する一 定の知識や技能を習得 できていない。							
思考力・判断力・表現力	いく思考力を身につ	自ら現実の教育・保育 に関する問題を発見・ 提起し、それに関する 情報を収集・分析し、 解決策を立案し、他者 に適切な方法で伝える ことができる。	自ら現実の教育・保育 に関する問題を発見・ 提起し、それに関する 情報を収集・分析し、 解決策を立案した上 で、他者に伝える力を 身につけている。	自ら現実の教育・保育 に関する問題を発見・ 提起し、それに関する 情報を収集・分析し、 解決策を立案できる力 を身につけている。	与えられる知識や技能 を自分なりに検討し、 教育・保育に関する解決 低的課題に対する解決 策を立案する力を身に つけている。	与えられる知識や技能 を自分なりに検討し、 教育・保育に関する現 代的課題に対する解決 策を立案する力を身に つけていない。							

# 区分共通

		教育・	保育の本質・目的に関す	る科目ルーブリック		
DPに基 づく学修 指標	学修目標の説明	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
主体的に学ぼうとする力	乳幼児期および児童期 の教育の特性や、教育 と子ども家庭有に関する 連性など、や目的に関する 知識や技能を身につけるために、選し、学修の 進め方につせいて試行錯誤するなど、自らの学修 は関するなど、自らつけている。	乳幼児期および児童期 の教育の特性や、教育 と子ども家庭福祉の関 連性など、教育・保育 の本質や目的に関する 知識や技能を身につけ るために、自らの学修 状況を把握し、学修の 進め方について試行錯 誤を続けている。	乳幼児期および児童期 の教育の特性や、教育 と子ども家庭福祉の関 連性など、教育 保育 の本質や目的に関すけ るために、自らの学修 状況を把握し、学修の 進め方について試行錯 誤を続けようとしてい る。	乳幼児期および児童期 の教育の特性や、教育 と子ども家庭福祉の関 連性など、教育 関連性など、教育 の本質や目的に関すす の本質や目的に関すす るために、自らの学修 状況を把握し、学修の 進め方について試行錯 誤をしようとしてい る。	乳幼児期および児童期 の教育の特性や、教育 と子ども家庭福祉・保育 連性など、教育関連性など、教育時的に関す の本質や目的に関すけるために、自らの学修 状況を把握し、学修の 進め方について試行錯 誤をしようとすること に消極的である。	乳幼児期および児童期 の教育の特性や、教育 と子ども家庭福祉の関 連性など、教育・保育 の本質や目的に関する 知識や技能を身につけ るために、自らの学修 状況を把握し、学修の 進め方について試行錯 誤するなどの、自ら学 ぼうとする力を身につ けていない。
協同的に学び合う力	乳幼児期および児童期 の教育の特性を と子どと、教育・関す 連性な質や目的に関いて の本職や技能を見てしての 自分の役割をしていての 自分の他にに割や責動をした。 がは、互いことができる力 を身につけている。	乳幼児期および児童期 の教育の特性や、教育 と子ども家庭福祉の保育 を子ども家庭育 連性など、教育関 連性など、教育関 の本質と見いての 自分の役割や責任をか け、互いに力を合わせ て学び合いを続けてい る。	乳幼児期および児童期 の教育の特性や、教育 と子ども家庭福祉・保守 連性など、教的に関につけるために、集団内での 自分の役割や責任をかけ、互いにのもかの役割やで理解し、他者に働きかけ、互いにを続けよう て学び合いを続けようとしている。	乳幼児期および児童期 の教育の特性や、教育 と子ども家庭福祉の関 連性など、教育・保育 の本質や目的に関する 知識や技能を身につけ るために、集団内での 自分の役割や責任をか け、互いに力を合わせ て学び合っている。	乳幼児期および児童期 の教育の特性や、教育 と子ども家庭福・保っ 連性など、教育 連性など、教育 の本質や技能を関けつけるために、集団内での 自分の役割や責任をか け、互いにのもかけ、互いにの で学び合うことに消極 的である。	乳幼児期および児童期 の教育の特性や、教育 と子ども家庭福祉の関連性など、教育の本質や目的に関する 知識や技能を身につけるために、集団内での 自分の役割や責任を理解し、近いに力を合わせていくなどの学び合う力を身につけていない。
知識·技能	乳幼児期および児童期 の教育の特性や、教育 と子ども家庭福祉の関連性など、教育・保育 の本質や目的に関する 知識や技能を備え、科 目間の関連性を理解し ている。	教育・保育の本質や目 的に関する高度な知識 や技能を習得し、科目 間の関連性を理解して いる。	教育・保育の本質や目 的に関する高度な知識 や技能を習得してい る。	与えられた事象に対す る教育・保育の本質や 目的に関する知識や技 能を習得している。	教育・保育の本質や目 的に関する一定の知識 や技能を習得してい る。	教育・保育の本質や目 的に関する一定の知識 や技能を習得していな い。
思考力 · 判断力 · 表現力	教育・保育の専門職と して求められる教育・ 保育の本質や目的に関 する知識や技能を基 に、自らの考えを深 め、課題を解決し、そ の結果を他者に正確に 伝える力を身につけて いる。	自ら現実の教育・保育 の本質や目的に関する 問題を発見・提起し、 それに関する情報を収 集・分析し、解決策を 立案し、他者に適切な 方法で伝えることがで きる。	自ら現実の教育・保育 の本質や目的に関する 問題を発見・提起し、 それに関する情報を収 集・分析し、解決策を 立案した上で、他者に 伝える力を身につけて いる。	自ら現実の教育・保育 の本質や目的に関する 問題を発見・提起し、 それに関する情報を収 集・分析し、解決策を 立案できる力を身につ けている。	与えられる知識や技能 を自分なりに検討し、 教育・保育の本質や目 的に関する現代的課題 に対する解決策を立案 する力を身につけてい る。	与えられる知識や技能 を自分なりに検討し、 教育・保育の本質や目 的に関する現代的課題 に対する解決策を立案 する力を身につけてい ない。

		教育	・保育の対象理解に関す	る科目ルーブリック		
DPに基 づく学修 指標	学修目標の説明	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
主体的に学ぼうとする力	乳幼児及び児童の発達、ます。 過程や学習過必要を表す。 個別支援をど、数とする子ども象理等を状態して、自らの学修の進め方 について試ら学ぼっるなど、自らではまって、 など、自らにつけているなど、なります。 る。	教育・保育の対象理解 に関して、自らの学修 状況を把握し、学修の 進め方について試行錯 誤を続けている。	教育・保育の対象理解 に関して、自らの学修 状況を把握し、学修の 進め方について試行錯 誤を続けようとしてい る。	教育・保育の対象理解 に関して、自らの学修 状況を把握し、学修の 進め方について試行錯 誤をしようとしてい る。	教育・保育の対象理解 に関して、自らの学修 状況を把握し、学修の 進め方について試行錯 誤をしようとすること に消極的である。	教育・保育の対象理解 に関して、自らの学修 状況を把握し、学修の 進め方について試行錯 誤するなどの、自ら学 ぼうとする力を身につ けていない。
協同的に 学び合う カ	乳幼児及び児童の発生、また 過程や学習過級とまた 個別で支援を必要とする子が大力を でいる。 の実現な理解に関か で、集団内で理解して、 後割や責任をけい、いく に力を合わせ力を身に している。	教育・保育の対象理解 に関して、集団内での 自分の役割や責任を理 解し、他者に働きか け、互いに力を合わせ て学び合いを続けてい る。	教育・保育の対象理解 に関して、集団内での 自分の役割や責任を理 解し、他者に働きか け、互いに力を合わせ て学び合いを続けよう としている。	教育・保育の対象理解 に関して、集団内での 自分の役割や責任を理 解し、他者に働きか け、互いに力を合わせ て学び合っている。	教育・保育の対象理解 に関して、集団内での 自分の役割や責任を理 解し、他者に働きか け、互いに力を合わせ て学び合うことに消極 的である。	教育・保育の対象理解 に関する、集団内での 自分の役割や責任を理 解し、他者に働きか け、互いに力を合わせ ていくなどの学び合う 力を身につけていな い。
知識・技能	乳効児及び児童の発達 過程や学習過程、また 個別の支援を必要とす る子どもなど、教育・ 保育の対象理解に関す る知識や技能を備え、 科目間の関連性を理解 している。	教育・保育の対象理解 に関する高度な知識や 技能を習得し、科目間 の関連性を理解してい る。	教育・保育の対象理解 に関する高度な知識や 技能を習得している。	与えられた事象に対す る教育・保育の対象理 解に関する知識や技能 を習得している。	教育・保育の対象理解 に関する一定の知識や 技能を習得している。	教育・保育の対象理解 に関する一定の知識や 技能を習得していな い。
	教育・保育の対象理解 に関する知識や技能を 基に、自らの考えを深 め、課題を解決し、そ の結果を他者に正確に 伝える力を身につけて いる。	自ら現実の教育・保育の対象となる子どもに関するとなる子どもに関するそれに関するそれに関する情報を収集・分析し、解決策を攻棄し、他者に適切な方法で伝えることができる。	自ら現実の教育・保育の対象となる子どもに関すを発見・提関を発見・提起し、それに関する情報を収集・分析し、解決策を立案した上で、他者に伝える力を身につけている。	自ら現実の教育・保育の対象となる子どもに関する問題を発見・提起し、それに関する情報を収集・分析し、解決策を立案できる力を身につけている。	与えられる知識や技能 を自分なりに検討し、 教育・保育の対象とな る子どもに関する現代 的課題に対する解決策 を立案する力を身につ けている。	与えられる知識や技能 を自分なりに検討し、 教育・保育の対象とな る子どもに関する現代 的課題に対する解決策 を立案する力を身につ けていない。

		教育・	保育の内容・方法に関す	る科目ルーブリック		
DPに基 づく学修 指標	学修目標の説明	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
主体的に学ぼうとする力	教育・保育の専門職として求められる実践内容や方法についてのはる なめ、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤するなど、自ら学ぼうとするなど、自ら学ぼうとするカを身につけている。	教育・保育の専門職と して求められる実践内 容や方法についての知 識や技能を身につける ため、自らの学修状況 を把握し、学修の進め 方について試行錯誤を 続けている。	教育・保育の専門職と して求められる実践内 容や方法についての知 識や技能を身につける ため、自らの学習状況 を把握し、学修の進め 方について試行錯誤を 続けようとしている。	教育・保育の専門職として求められる実践内容や方法についての知識や技能を身につけるため、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤をしようとしている。	教育・保育の専門職と して求められる実践内 容や方法についての知 識や技能を身につける ため、自らの学修状況 を把握し、学修の進め 方について試行錯誤を しようとすることに消 極的である。	教育・保育の専門職として求められる実践内容や方法についての知識や技能を身につけるため、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤するなどの、自ら学ぼうとする力を身につけていない。
協同的に学び合う力	教育・保育の専門職として求められる実践内容や方法についての知識や技能を身につけるため、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせていくことができる力を身につけている。	教育・保育の専門職と して求められる実践内 容や方法についての知 識や技能を身につける ため、集団内での自分 の役割や責任を理解 し、他者に働きかけ、 互いに力を合わせて学 び合いを続けている。	教育・保育の専門職として求められる実践内容や方法についての知識や技能を身につけるため、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせて学び合いを続けようとしている。	教育・保育の専門職と して求められる実践内 容や方法についての知 識や技能を身につける ため、集団内での自分 の役割や責任を理解 し、他者に働きかけ、 互いに力を合わせて学 び合っている。	教育・保育の専門職と して求められる実践内 容や方法についての知 識や技能を身につける ため、集団内での自分 の役割や責任を理解 し、他者に働きかけ、 互いに力を合わせて学 び合うことに消極的で ある。	教育・保育の専門職と して求められる実践内 容や方法についての知 識や技能を身につける ため、集団内での自分 の役割や責任を理解 し、他者に働きかけ、 互いに力を合わせてい くなどの学び合う力を 身につけていない。
知識・技能	教育・保育の専門職と して求められる実践内 容や方法についての知 識や技能を備え、科目 間の関連性を理解して いる。	教育・保育の実践内容 や方法に関する高度な 知識や技能を習得し、 科目間の関連性を理解 している。	教育・保育の実践内容 や方法に関する高度な 知識や技能を習得して いる。	与えられた事象に対す る教育・保育の実践内 容や方法に関する知識 や技能を習得してい る。	教育・保育の実践内容 や方法に関し、一定の 知識や技能を習得して いる。	教育・保育の実践内容 や方法に関し、一定の 知識や技能を習得して いない。
思考力・ 判断力・ 表現力	教育・保育の専門職と して求められる実践内 容や方法に関する知識 や技能を基に、自らの 考えを深め、課題を解 決し、その結果を他者 に正確に伝える力を身 につけている。	自ら現実の教育・保育 の内容や方法に関する 問題を発見・提起し、 それに関する情報を収 集・分析し、解決策を 立案とし、他者に適切な 方法で伝えることがで きる。	自ら現実の教育・保育 の内容や方法に関する 問題を発見・提起し、 それに関する情報を収 集・分析し、解決策を 立案した上で、他者に 伝える力を身につけて いる。	自ら現実の教育・保育 の内容や方法に関する 問題を発見・提起し、 それに関する情報を収 集・分析し、解決策を 立案できる力を身につ けている。	を自分なりに検討し、 教育・保育の内容や方 法に関する現代的課題	与えられる知識や技能 を自分なりに検討し、 教育・保育の内容や方 法に関する現代的課題 に対する解決策を立案 する力を身につけてい ない。

			特別支援教育に関する科	目ルーブリック		
DPに基 づく学修 指標	学修目標の説明	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
主体的に学ぼうとする力	特別の支援を必要とする乳幼児および児童を保育・教育するために必要な専門的知識や技能を身につけるため担し、学修の進め方について試行錯誤するなど、自ら学ぼうとする力を身につけている。	特別の支援を必要とする乳幼児および児童を保育・教育するために必要な専門的知識や技能を身につけるため、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤を続けている。	特別の支援を必要とする乳幼児および児童を保育・教育するために必要な専門的知識や技能を身につけるため、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤を続けようとしている。	特別の支援を必要とする乳幼児および児童を保育・教育するために必要な専門的知識や技能を身につけるため、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤をしようとしている。	特別の支援を必要とす る乳幼児および児童を 保育・教育するために 必要な専門的知識や技 能を身につけるため. 自らの学修状況を把握 し、学修の進め方について試行錯誤をしよう とすることに消極的で ある。	特別の支援を必要とする乳幼児および児童を 保育・教育するために 必要な専門的知識や技 能を身につけるため、 自らの学修状況を把握 し、学修の進め方について試行錯誤するなど の、自ら学ぼうとする 力を身につけていな い。
協同的に 学び合う カ	特別の支援を必要とする乳幼児および児童を保育・教育するために必要な専門的知識や技能を身につけるため、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせていくことができる力を身につけている。	特別の支援を必要とする乳幼児および児童を保育・教育するために必要な専門的知識や技能を身につけるため、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせて学び合いを続けている。	特別の支援を必要とする乳幼児および児童を保育・教育するために必要な専門的知識や技能を身につけるため、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせて学び合いを続けようとしている。	特別の支援を必要とする乳幼児および児童を保育・教育するために必要な専門的知識や技能を身につけるため、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせて学び合っている。	特別の支援を必要とする乳幼児および児童を保育・教育するために必要な専門的知識や技能を身につけるため、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせて学び合うことに消極的である。	特別の支援を必要とする乳効児および児童を 名乳効児および児童を 保育・教育するために 必要な専門的知識や技 能を身につけるため、 集団内での自分の役割 や責任を理解し、他者 に働きかけ、互いに力 を合わせていくなどの 学び合う力を身につけ ていない。
知識・技能	特別の支援を必要とす る乳幼児および児童を 保育・教育するために 必要な専門的知識や技 能を備え、科目間の関 連性を理解している。	特別支援教育に関する 高度な知識や技能を習 得し、科目間の関連性 を理解している。	特別支援教育に関する 高度な知識や技能を習 得している。	与えられた事象に対す る特別支援教育に関す る知識や技能を習得し ている。	特別支援教育に関する 一定の知識や技能を習 得している。	特別支援教育に関する 一定の知識や技能を習 得していない。
思考力・ 判断力・ 表現力	教育・保育の専門職として求められる時別の 支援を必要とする乳気 児・児童に関する乳鉱 や技能を基に、自らの 考えを深め、課題を解 決し、その結果る力を身 に正確に伝える力を身 につけている。	自ら特別の支援を必要 とする乳幼児・児童に 関する問題を発見・提 起し、それに関する情 報を収集・分析し、解 決策を立案し、他者に 適切な方法で伝えるこ とができる。	自ら特別の支援を必要 とする乳幼児・児童に 関する問題を発見・提 起し、それに関する情 報を収集・分析し、解 決策を立案した上で、 他者に伝える力を身に つけている。	自ら特別の支援を必要 とする乳幼児・児童に 関する問題を発見・提 起し、それに関する情 報を収集・分析し、解 決策を立案できる力を 身につけている。	与えられる知識や技能 を自分なりに検討し、 特別の支援を必要とす る乳幼児・児童に関す る現代的課題に対する 解決策を立案する力を 身につけている。	与えられる知識や技能 を自分なりに検討し、 特別の支援を必要とす る乳幼児・児童に関す る現代的課題に対する 解決策を立案する力を 身につけていない。

			体験学習科目ルー	ブリック		
DPに基 づく学修 指標	学修目標の説明	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
主体的に 学ぼうと する力	教育・保育に関わる実践について、実習等を通して体験的に学修した知識や技能を身の学修 が見かが、自らの学修が、できない。 が表し、学修の進め方について試行錯誤するなど、度を有している。力を身につけている。	教育・保育に関わる実践について、実習等を通して体験的に学修した知識や技能を身に学修 が、自らの学修 状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤を続けている。	教育・保育に関わる実践について、実習等を通して体験的に学修した知識や技能を身につけるため、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤を続けようとしている。	教育・保育に関わる実践について、実習等を通して体験的に学修した知識や技能を身につけるため、自らの学修状況を把握し、学修の進め方について試行錯誤をしようとしている。	教育・保育に関わる実 態について、実習等し 通して体験的に学等し た知識や技能を身につ けるため、自らの学修 状況を把握し、学修の 進め方について試行錯 誤をしようとすること に消極的である。	教育・保育に関わる実 践について、実習等を 通して体験的に学修し た知識や技能を身につ けるため、自らの学修 状況を把握し、学修の 進め方について試行錯 誤するなどの、自ら学 ぼうとする力を身につ けていない。
協同的に学び合う力	教育・保育に関わる実 践について、実習等を 通して体験的に学修し た知識や技能を身につ けるため、集団内での 自分の役割や責任を理 解し、他者に働きか け、互いに力を合わせ ていくことができる力 を身につけている。	教育・保育に関わる実践について、実習等を通して体験的に学修した知識や技能を身につけるため、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせて学び合いを続けている。	教育・保育に関わる実践について、実習等を通して体験的に学修した知識や技能を身につけるため、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせて学び合いを続けようとしている。	教育・保育に関わる実 践について、実習等を 通して体験的に学修し た知識や技能を身につ けるため、集団内での 自分の役割や責任を理 解し、他者に働きか け、互いに力を合わせ て学び合っている。	教育・保育に関わる実践について、実習等を通して体験的に学修した知識や技能を身につけるため、集団内での自分の役割や責任を理解し、他者に働きかけ、互いに力を合わせて学び合うことに消極的である。	教育・保育に関わる実 践について、実習等を 通して体験的に学修し けるため、集団内での 自分の役割や責任を理 解し、他者に働きか け、互いに力を合わせ ていくなどの学び合う 力を身につけていな い。
知識・技能	教育・保育に関わる実 践について、実習等を 通して体験的に学修し た知識や技能を備え、 科目間の関連性を理解 している。	教育・保育に関わる実践について、実習等を 通して体験的に知識や 技能を習得し、科目間 の関連性を理解してい る。	教育・保育に関わる実 践について、実習等を 通して知識や技能を習 得している。	与えられた事象に対す る教育・保育に関わる 実践について、実習等 を通して、知識や技能 を習得している。		教育・保育に関わる実践について、実習等を 通して体験的に学修 し、一定の知識や技能 の習得していない。
思考力· 判断力· 表現力	教育・保育の実習等体 験学習を通して、自ら の考えを深め、課題を 解決し、その結果を他 者に正確に伝える力を 身につけている。	教育・保育の実習等体験学習を通して、その を発見・提起を、それ に関する情報を収集・ 分析し、解決策を立案 し、他者に適切な方法 で伝えることができ る。	教育・保育の実習等体験学習を通して、 同題 を発見・提起し、 それ に関する情報を収集・分析し、解決策を立案 した上で、他者に伝える力を身につけている。	教育・保育の実習等体験学習を通して、問題を発見・提起し、それに関する情報を収集・分析し、解決策を立案できる力を身につけている。	験学習を通して、教育・保育の現代的課題 に対する解決策を立案	教育・保育の実習等体 験学習を通して、教 育・保育の現代的課題 に対する解決策を立案 する力を身につけてい ない。

			総合的な学修・研究科目	]ルーブリック		
DPに基 づく学修 指標	学修目標の説明	レベル5	レベル4	レベル3	レベル2	レベル1
主体的に学ぼうとする力	教育・保育に関する諸 課題を個別テーマに即 して総合的に学修・研 究する知識や技能をの につけるため、自らの 学修状況を把握し、学 修の進め方につい、自ら 学ぼうとする力を身に つけている。	教育・保育に関する諸 課題を個別テーマに即 して総合的に学修・研 究する知識や技能を身 につけるため、自らの 学修状況を把握し、学 修の進め方について試 行錯誤を続けている。	教育・保育に関する諸 課題を個別テーマに して総合的に学修・研 究する知識や技能を身 につけるため、自らの 学修状況を把握し、学 修の進め方について試 行錯誤を続けようとし ている。	教育・保育に関する諸 課題を個別テーマに して総合的に学修・研 究する知識や技能を身 につけるため、自らの 学修状況を把握し、学 修の進め方について試 行錯誤をしようとして いる。	教育・保育に関する諸 課題を個別テーマに して総合的に学修・研 究する知識や技能を身 につけるため、自らの 学修状況を把握し、学 修の進め方について試 行錯誤をしようとする ことに消極的である。	教育・保育に関する諸 課題を個別テーマに即 して総合的に学修・研 究する知識や技能を身 につけるため、自らの 学修状況を把握し、学 修の進め方について試 行錯誤するなどの、自 ら学ぼうとする力を身 につけていない。
協同的に学び合う力	教育・保育に関する諸 課題を個別テーマに即 して総合的に学修・研 究する知識や技能を身 につけるため、集団内 での自分の役割や責任 を理解し、他者に働き かけ、互いに力を合わ せていくことができる 力を身につけている。	教育・保育に関する諸 課題を個別テーマに即 して総合的に学修・研 究する知識や技能を身 につけるため、集団内 での自分の役割や責任 を理解し、他者に働き かけ、互いに力を合わ せて学び合いを続けて いる。	教育・保育に関する諸 課題を個別テーマに即 して総合的に学修・研 究する知識や技能を身 につけるため、集団内 での自分の役割や責任 を理解し、他者に働き かけ、互いに力を合わ せて学び合いを続けよ うとしている。	教育・保育に関する諸 課題を個別テーマに即 して総合的に学修・研 究する知識や技能を身 につけるため、集団内 での自分の役割や責任 を理解し、他者に働き かけ、互いに力を合わ せて学び合っている。	教育・保育に関する諸 課題を個別テーマに即 して総合的に学修・研 究する知識や技能を身 につけるため、集可内 での自分の役割や責任 を理解し、他者に働き かけ、互いに力を合わ せて学び合うことに消 極的である。	教育・保育に関する諸 課題を個別テーマに即 して総合的に学修・研 究する知識や技能を身 につけるため、集団内 での自分の役割や責任 を理解し、他者に働き かけ、互いに力を合わ せていくなどの学び合 う力を身につけていな い。
知識·技能	教育・保育に関する諸 課題を個別テーマに即 して総合的に学修・研 究する知識や技能を備 え、科目間の関連性を 理解している。	教育・保育に関する諸 課題を個別テーマに即 して総合的に学修・研 究し、知識や技能を習 得し、科目間の関連性 を理解している。	教育・保育に関する諸 課題を個別テーマに即 して総合的に学修・研 究し、知識や技能を習 得している。	与えられた事象に対す る教育・保育に関する 諸課題を個別テーマに 即して総合的に学修・ 研究し、知識や技能を 習得している。	教育・保育に関する諸 課題を個別テーマに即 して総合的に学修・研 究し、一定の知識や技 能を習得している。	教育・保育に関する諸 課題を個別テーマに即 して総合的に学修・研 究し、一定の知識や技 能を習得していない。
思考力・ 判断力・ 表現力	教育・保育に関する諸 課題を個別テーマに即 して、自らの考えを深 め、課題を解決し、そ の結果を他者に正確に 伝える力を身につけて いる。	教育・保育に関する諸 課題を個別テーマに即 して問題を発見・提起 し、それに関する情報 を収集・分析し、解決 策を立案し、他者に適 切な方法で伝えること ができる。	教育・保育に関する諸 課題を個別テーマに即 して、問題を発見・提 起し、それに関する情 報を収集・分析し、解 決策を立案した上で、 他者に伝える力を身に つけている。	教育・保育に関する諸 課題を個別テーマに即 して、問題を発見・提 起し、それに関する情 報を収集・分析し、解 決策を立案できる力を 身につけている。	教育・保育に関する諸 課題を個別テーマに即 して、教育・保育の現 代的課題に対する解決 策を立案する力を身に つけている。	教育・保育に関する諸 課題を個別テーマに即 して、教育・保育の現 代的課題に対する解決 策を立案する力を身に つけていない。

# 〇国際教養こども学科

# 区分共通

	目のル-	

区分共通						
こども教育科目のルー	・ブリック					
学修指標(DP)	学修目標の説明	AA	A	В	С	F
1. 国際社会で活躍するため	国内及び諸外国の保育・幼児	国内及び諸外国の保育・幼児	国内及び諸外国の保育・幼児	国内及び諸外国の保育・幼児	国内及び諸外国の保育・幼児	国内及び諸外国の保育・幼児
に必要な幅広い視野と知識と	教育に関する知識、幅広い視	教育に関する知識、幅広い視	教育に関する知識、幅広い視	教育に関する知識、幅広い視	教育に関する知識、幅広い視	教育に関する知識、幅広い視
教養	野と教養を持ち、国際社会に	野と教養を大変豊富に持ち、	野と教養を豊富に持ち、国際	野と教養を持ち、国際社会に	野と教養を一定程度持ち、国	野と教養が不足し、国際社会
	おいて保育者として活躍する	国際社会において保育者とし	社会において保育者として活	おいて保育者として活躍する	際社会において保育者として	において保育者として活躍す
	ことが出来る能力を持つ	て多彩な活躍することが出来	躍することが出来る豊かな能	ことが出来る能力を持つ	活躍することが最低限可能な	ることが出来る能力を有して
		る豊かな能力を持つ	力を持つ		能力を持つ	いない
2. 各国の保育の比較を通し	保育・幼児教育の対象・歴	保育・幼児教育の対象・歴	保育・幼児教育の対象・歴	保育・幼児教育の対象・歴	保育・幼児教育の対象・歴	保育・幼児教育の対象・歴
て身につく、自らのより望ま	史・現状・制度・内容・方法	史・現状・制度・内容・方法	史・現状・制度・内容・方法	史・現状・制度・内容・方法	史・現状・制度・内容・方法	史・現状・制度・内容・方法
しい保育のあり方について考	を理解し、諸外国のそれらと	を大変深く理解し、諸外国の	を深く理解し、諸外国のそれ	を理解し、諸外国のそれらと	を一定程度理解し、諸外国の	の理解が不足し、諸外国のそ
察する力	の比較を通して自分の考えを	それらとの比較を通して根拠	らとの比較を通して根拠に基	の比較を通して自分の考えを	それらとの比較を通してある	れらとの比較を通して自分の
	持ち、これからの保育・幼児	に基づいた確固たる自分の考	づいた自分の考えを持ち、こ	持ち、これからの保育・幼児	程度自分の考えを持ち、これ	考えを持つに至らず、これか
	教育の理想のあり方を思い描	えを持ち、これからの保育・	れからの保育・幼児教育の理	教育の理想のあり方を思い描	からの保育・幼児教育の理想	らの保育・幼児教育の理想の
	くことができる	幼児教育の理想のあり方を大	想のあり方を豊かに思い描く	くことができる	のあり方を思い描くことが	あり方を思い描くことができ
		変豊かに思い描くことができ	ことができる		やっとできる	るない
		<b>వ</b>				
3. 国内外での実習と卒業研	_	_	_	_	_	_
究に取り組むことで身につ						
く、課題を見出し解決する力						
と論理的思考力						
4. 多文化共生社会に生きる	多文化共生社会における保	多文化共生社会における保	多文化共生社会における保	多文化共生社会における保	多文化共生社会における保	多文化共生社会における保
子どもと保護者の支援を行う	育・幼児教育・保護者支援を	育・幼児教育・保護者支援を	育・幼児教育・保護者支援を	育・幼児教育・保護者支援を	育・幼児教育・保護者支援を	育・幼児教育・保護者支援を
のに必要な異文化受容能力	するにあたり、自己の文化と	するにあたり、自己の文化と	するにあたり、自己の文化と	するにあたり、自己の文化と	するにあたり、自己の文化と	するにあたり、自己の文化と
	様々な文化の共通性や差に複	様々な文化の共通性や差の複	様々な文化の共通性や差の複	様々な文化の共通性や差に複	様々な文化の共通性や差に理	様々な文化の共通性や差の理
	合的な理解があり、それを受	合的な理解が大変豊富にあ	合的な理解が豊富にあり、そ	合的な理解があり、それを受	解があり、それを受容するこ	解と、それを受容する能力が
	容することができる	り、それを受容することがで	れを受容することができる能	容することができる	とが一定程度できる	不足している
		きる能力に大変長けている	力に長けている			
5. グローバル時代に対応で	_	_	_	_	_	_
きる日本語及び英語を中心と						
する外国語による高いコミュ						
ニケーション能力						

国際教養科目のルーブリック
---------------

国际状態行口のルーク	, , ,					
学修指標(DP)	学修目標の説明	AA	A	В	С	F
1. 国際社会で活躍するため	諸外国に関する知識、幅広い	諸外国に関する知識、幅広い	諸外国に関する知識、幅広い	諸外国に関する知識、幅広い	諸外国に関する知識、幅広い	諸外国に関する知識、幅広い
に必要な幅広い視野と知識と	視野と教養を持ち、国際社会	視野と教養を大変豊富に持	視野と教養を豊富に持ち、国	視野と教養を持ち、国際社会	視野と教養を一定程度持ち、	視野と教養が不足し、国際社
教養	において自立した社会人とし	ち、国際社会において自立し	際社会において自立した社会	において自立した社会人とし	国際社会において自立した社	会において自立した社会人と
	て活躍することが出来る能力	た社会人として多彩な活躍す	人として活躍することが出来	て活躍することが出来る能力	会人として活躍することが最	して活躍することができる能
	を持つ	ることが出来る豊かな能力を	る豊かな能力を持つ	を持つ	低限可能な能力を持つ	力を有していない
		持つ				
2. 各国の保育の比較を通し	保育・幼児教育の対象・歴	保育・幼児教育の対象・歴	保育・幼児教育の対象・歴	保育・幼児教育の対象・歴	保育・幼児教育の対象・歴	保育・幼児教育の対象・歴
て身につく、自らのより望ま	史・現状・制度・内容・方法	史・現状・制度・内容・方法	史・現状・制度・内容・方法	史・現状・制度・内容・方法	史・現状・制度・内容・方法	史・現状・制度・内容・方法
しい保育のあり方について考	を理解し、諸外国のそれらと	を大変深く理解し、諸外国の	を深く理解し、諸外国のそれ	を理解し、諸外国のそれらと	を一定程度理解し、諸外国の	の理解が不足し、諸外国のそ
察する力	の比較を通して自分の考えを	それらとの比較を通して根拠	らとの比較を通して根拠に基	の比較を通して自分の考えを	それらとの比較を通してある	れらとの比較を通して自分の
	持ち、これからの保育・幼児	に基づいた確固たる自分の考	づいた自分の考えを持ち、こ	持ち、これからの保育・幼児	程度自分の考えを持ち、これ	考えを持つに至らず、これか
	教育の理想を思い描くことが	えを持ち、これからの保育・	れからの保育・幼児教育の理	教育の理想を思い描くことが	からの保育・幼児教育の理想	らの保育・幼児教育の理想の
	できる	幼児教育の理想を大変豊かに	想を豊かに思い描くことがで	できる	を思い描くことがやっとでき	あり方を思い描くことができ
		思い描くことができる	きる		る	るない
3. 国内外での実習と卒業研	国内外の実習やその準備に取	国内外の実習やその準備に取	国内外の実習やその準備に取	国内外の実習やその準備に取	国内外の実習やその準備に取	国内外の実習やその準備に取
究に取り組むことで身につ	り組むことで、グローバル及	り組むことで、グローバル及	り組むことで、グローバル及	り組むことで、グローバル及	り組むことで、グローバル及	り組むが、グローバル及び
く、課題を見出し解決する力	びローカルな視点における課	びローカルな視点における課	びローカルな視点における課	びローカルな視点における課	びローカルな視点における課	ローカルな視点における課題
と論理的思考力	題を見出し、根拠を持って論	題を大変的確に見出し、豊富	題を的確に見出し、客観的根	題を見出し、根拠を持って論	題を一定程度見出し、論理的	を見出すに至らず、論理的な
	理的に思考し、その課題を解	な客観的根拠を持って論理的	拠を持って論理的に思考し、	理的に思考し、その課題を解	に思考し、その課題をやっと	思考に欠け、課題の解決が出
	決することができる	に思考し、その課題を場面に	その課題を適切に解決するこ	決することができる	解決することができる	来ない
		応じて適切に解決することが	とができる			
		できる				
4. 多文化共生社会に生きる	多文化共生社会における保	多文化共生社会における保	多文化共生社会における保	多文化共生社会における保	多文化共生社会における保	多文化共生社会における保
子どもと保護者の支援を行う	育・幼児教育・保護者支援を	育・幼児教育・保護者支援を	育・幼児教育・保護者支援を	育・幼児教育・保護者支援を	育・幼児教育・保護者支援を	育・幼児教育・保護者支援を
のに必要な異文化受容能力	するにあたり、自己の文化と	するにあたり、自己の文化と	するにあたり、自己の文化と	するにあたり、自己の文化と	するにあたり、自己の文化と	するにあたり、自己の文化と
	様々な文化の共通性や差に複	様々な文化の共通性や差に複	様々な文化の共通性や差に複	様々な文化の共通性や差に複	様々な文化の共通性や差に複	様々な文化の共通性や差に複
	合的な理解があり、それを受	合的で大変豊富な理解があ	合的で豊富な理解があり、そ	合的な理解があり、それを受	合的な理解が一定程度あり、	合的な理解が不足し、それを
	容することができる	り、それを深い共感を伴い受	れを共感を伴い受容すること	容することができる	それを受容することが最低限	受容することができない、ま
		容することができる	ができる		できる	たは受容するに至らない
5. グローバル時代に対応で	グローバル時代の高度な言語	言語でのコミュニケーション	言語でのコミュニケーション	言語でのコミュニケーション	言語でのコミュニケーション	言語でのコミュニケーション
きる日本語及び英語を中心と	コミュニケーションに対応で	において、母国語と外国語の	において、母国語と外国語の	において、母国語と外国語の	において、母国語と外国語の	において、母国語と外国語の
する外国語による高いコミュ	きる実践的な語学力を身につ	差異を踏まえた豊富で多彩な	差異を踏まえた知識を有し、	知識を有し、4技能を統合し	知識を一定程度有し、4技能	知識が不足し、4技能を統合
ニケーション能力	ける。	知識を有し、4技能を統合し	4技能を統合し様々な状況に	様々な状況に応じた意思疎通	を統合し様々な状況に応じた	した様々な状況に応じた意思
		様々な状況に応じた的確かつ	応じた的確かつ多彩な意思疎	ができる	最低限の意思疎通ができる	疎通ができない
		多彩な高次元での意思疎通が	通が円滑にできる			
		無理なく円滑にできる				

実習科目のルーブリッ	7					
学修指標(DP)	学修目標の説明	AA	А	В	С	F
1. 国際社会で活躍するため	_	_	_	_	_	_
に必要な幅広い視野と知識と						
教養						
2. 各国の保育の比較を通し	保育・幼児教育の対象・歴	保育・幼児教育の対象・歴	保育・幼児教育の対象・歴	保育・幼児教育の対象・歴	保育・幼児教育の対象・歴	保育・幼児教育の対象・歴
て身につく、自らのより望ま	史・現状・制度・内容・方法	史・現状・制度・内容・方法	史・現状・制度・内容・方法	史・現状・制度・内容・方法	史・現状・制度・内容・方法	史・現状・制度・内容・方法
しい保育のあり方について考	を理解し、これからの保育・	を大変深く理解し、これから	を深く理解し、これからの保	を理解し、これからの保育・	を一定程度理解し、これから	の理解が不足し、これからの
察する力	幼児教育の理想のあり方を思	の保育・幼児教育の理想を大	育・幼児教育の理想を豊かに	幼児教育の理想を思い描くこ	の保育・幼児教育の理想を思	保育・幼児教育の理想のあり
	い描くことができる	変豊かに思い描くことができ	思い描くことができる	とができる	い描くことがやっとできる	方を思い描くことに至らない
		3				
3. 国内外での実習と卒業研	国内の実習とその準備に取り	国内外の実習やその準備に取	国内外の実習やその準備に取	国内の実習とその準備に取り	国内の実習とその準備に取り	国内の実習とその準備に取り
究に取り組むことで身につ	組むことで、保育・幼児教育	り組むことで、保育・幼児教	り組むことで、保育・幼児教	組むことで、保育・幼児教育	組むことで、保育・幼児教育	組むが、保育・幼児教育にお
く、課題を見出し解決する力	における課題を見出し、その	育における課題を大変的確に	育における課題を的確に見出	における課題を見出し、その	における課題を一定程度見出	ける課題を見出すに至らず、
と論理的思考力	課題を根拠を持って論理的に	見出し、豊富な客観的根拠を	し、客観的根拠を持って論理	課題を根拠を持って論理的に	し、その課題を論理的に思考	論理的な思考に欠け、課題の
	思考しながら解決することが	持って論理的に思考し、その	的に思考し、その課題を適切	思考しながら解決することが	してやっと解決することがで	解決が出来ない
	できる	課題を場面に応じて適切に解	に解決することができる	できる	きる	
		決することができる				
4. 多文化共生社会に生きる	_	_	1	_	_	_
子どもと保護者の支援を行う						
のに必要な異文化受容能力						
5. グローバル時代に対応で	_	_	_	_	_	_
きる日本語及び英語を中心と						
する外国語による高いコミュ						
ニケーション能力						

### ※「海外保育フィールド・スタディ」と「海外幼児教育インターンシップ」については、「演習科目」のループリックを参照

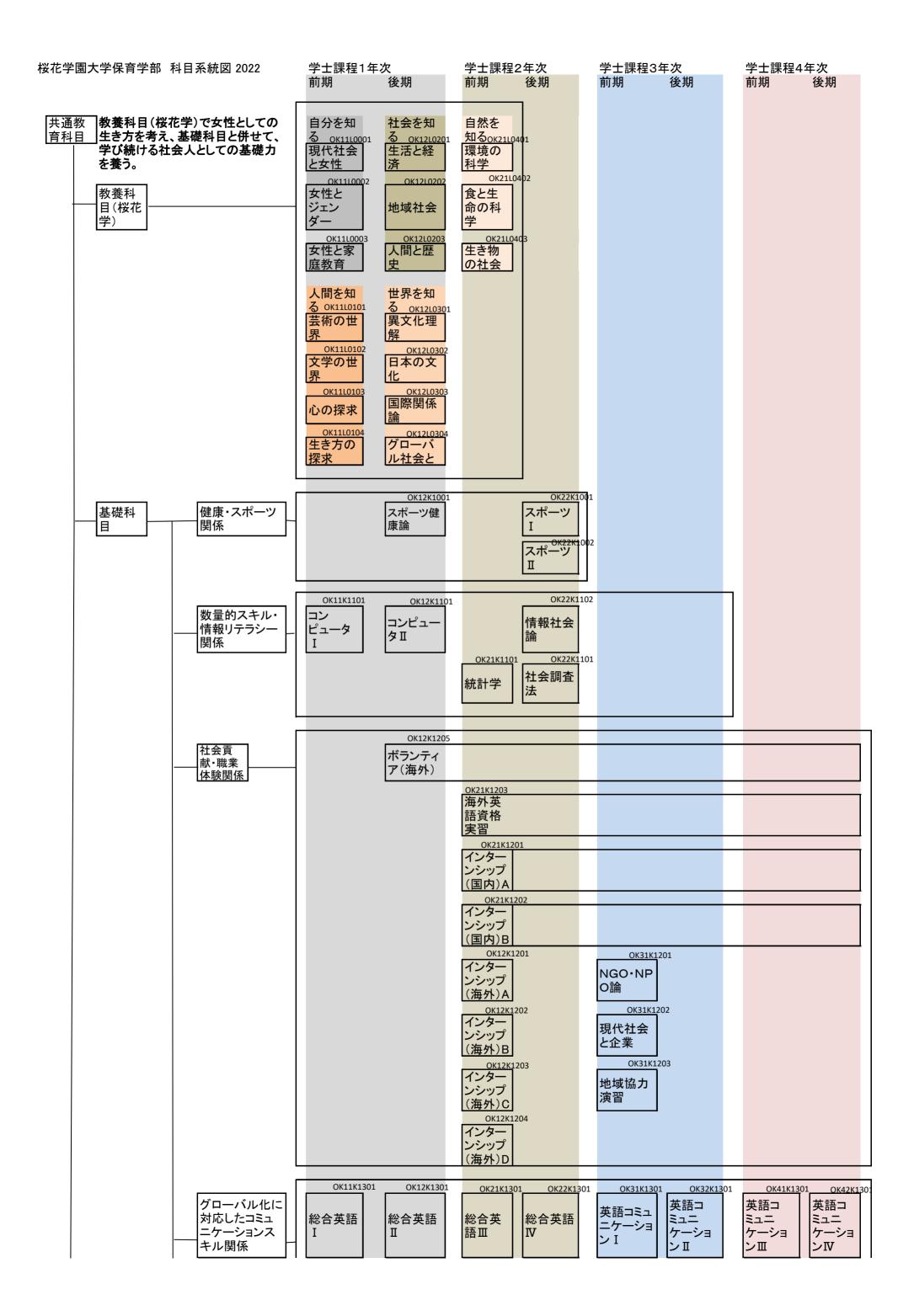
演習科目のルーブリッ	ク					
学修指標(DP)	学修目標の説明	AA	А	В	С	F
1. 国際社会で活躍するため	諸外国の保育・幼児教育に関	諸外国の保育・幼児教育に関	諸外国の保育・幼児教育に関	諸外国の保育・幼児教育に関	諸外国の保育・幼児教育に関	諸外国の保育・幼児教育に関
に必要な幅広い視野と知識と	する知識、幅広い視野と教養	する知識、幅広い視野と教養	する知識、幅広い視野と教養	する知識、幅広い視野と教養	する知識、幅広い視野と教養	する知識、幅広い視野と教養
教養	を持ち、国際社会において保	を大変豊富に持ち、国際社会	を豊富に持ち、国際社会にお	を持ち、国際社会において保	を一定程度持ち、国際社会に	が不足し、国際社会において
	育者として活躍することが出	において保育者として多彩な	いて保育者として活躍するこ	育者として活躍することが出	おいて保育者として活躍する	保育者として活躍することが
	来る能力を持つ	活躍することが出来る豊かな	とが出来る豊かな能力を持つ	来る能力を持つ	ことが最低限可能な能力を持	できる能力を有していない
		能力を持つ			っ	
2. 各国の保育の比較を通し	保育・幼児教育の対象・歴	保育・幼児教育の対象・歴	保育・幼児教育の対象・歴	保育・幼児教育の対象・歴	保育・幼児教育の対象・歴	保育・幼児教育の対象・歴
て身につく、自らのより望ま	史・現状・制度・内容・方法	史・現状・制度・内容・方法	史・現状・制度・内容・方法	史・現状・制度・内容・方法	史・現状・制度・内容・方法	史・現状・制度・内容・方法
しい保育のあり方について考	を理解し、諸外国のそれらと	を大変深く理解し、諸外国の	を深く理解し、諸外国のそれ	を理解し、諸外国のそれらと	を一定程度理解し、諸外国の	の理解が不足し、諸外国のそ
察する力	の比較を通して自分の考えを	それらとの比較を通して根拠	らとの比較を通して根拠に基	の比較を通して自分の考えを	それらとの比較を通してある	れらとの比較を通して自分の
	持ち、これからの保育・幼児	に基づいた確固たる自分の考	づいた自分の考えを持ち、こ	持ち、これからの保育・幼児	程度自分の考えを持ち、これ	考えを持つに至らず、これか
	教育の理想を思い描くことが	えを持ち、これからの保育・	れからの保育・幼児教育の理	教育の理想を思い描くことが	からの保育・幼児教育の理想	らの保育・幼児教育の理想の
	できる	幼児教育の理想を大変豊かに	想を豊かに思い描くことがで	できる	を思い描くことがやっとでき	あり方を思い描くことができ
		思い描くことができる	きる		3	るない
3. 国内外での実習と卒業研			国内外の実習やその準備、卒			
究に取り組むことで身につ	業研究に取り組むことで、グ	業研究に取り組むことで、グ	業研究に取り組むことで、グ	業研究に取り組むことで、グ	業研究に取り組むことで、グ	業研究に取り組むが、グロー
			ローバル及びローカルな視点			
と論理的思考力		における課題を大変的確に見			における課題を一定程度見出	
	を持って論理的に思考し、そ			を持って論理的に思考し、そ		
			的に思考し、その課題を適切			解決が出来ない
	3	課題を場面に応じて適切に解	に解決することができる	3	きる	
		決することができる				
4. 多文化共生社会に生きる	2 7 (10) ( = 12 A · · · · · 7 4 / · ·	多文化共生社会における保		多文化共生社会における保		多文化共生社会における保
子どもと保護者の支援を行う			育・幼児教育・保護者支援を			
のに必要な異文化受容能力			するにあたり、自己の文化と	The state of the s		
			様々な文化の共通性や差に複			
	合的な理解があり、それを受			合的な理解があり、それを受		合的な理解が不足し、それを
	容することができる		れを共感を伴い受容すること	容することができる	それを受容することが最低限	
- 10		容することができる	ができる		できる	たは受容するに至らない
			言語でのコミュニケーション			
			において、母国語と外国語の			
		差異を踏まえた豊富で多彩な				知識が不足し、4技能を統合
ニケーション能力	ける。			様々な状況に応じた意思疎通		
			応じた的確かつ多彩な意思疎	かできる	最低限の意思疎通ができる	疎通ができない
		多彩な高次元での意思疎通が	<b>週か円滑にできる</b>			
		無理なく円滑にできる				

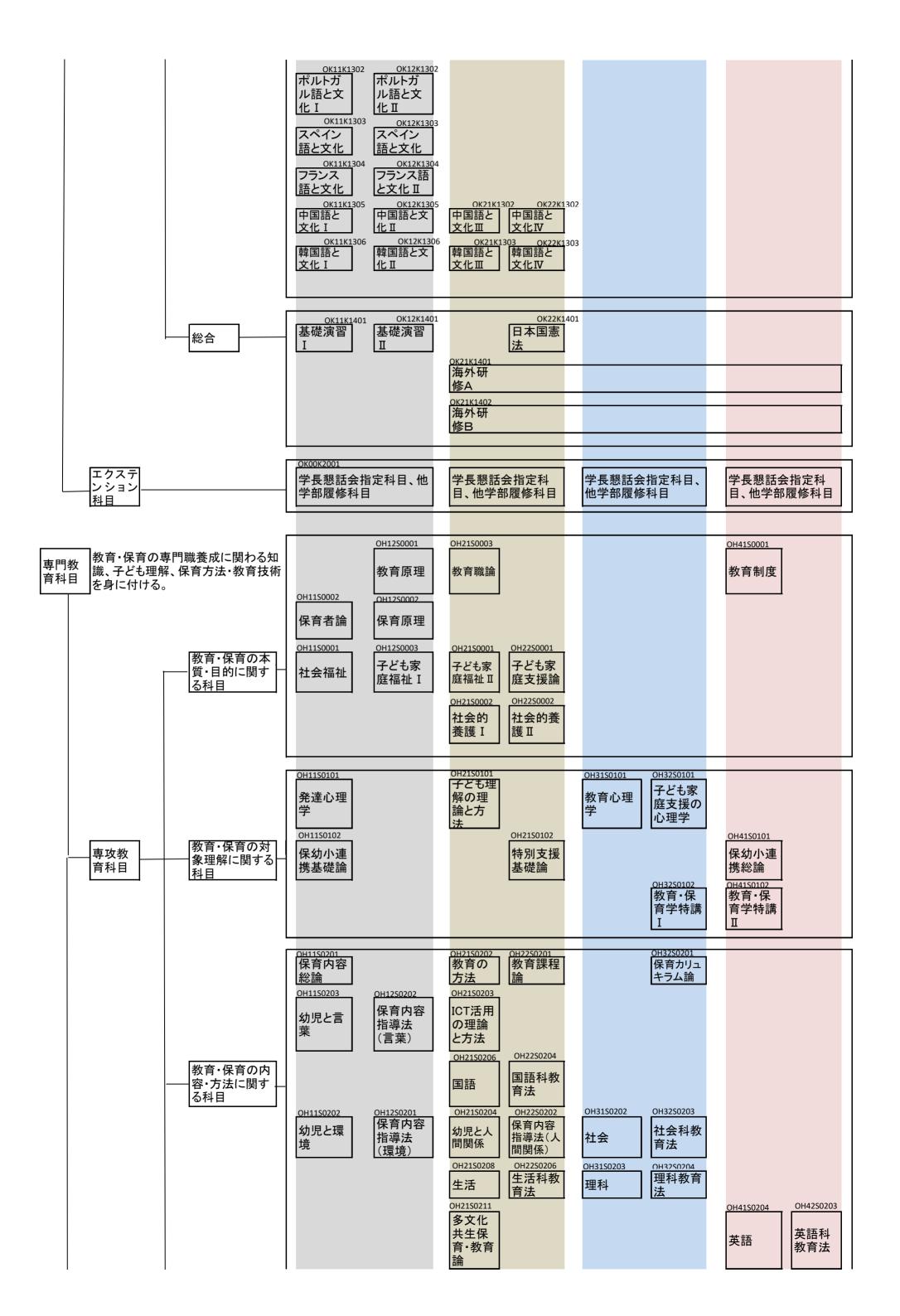
# カリキュラムマップ 〇保育学科

		保育学科2021年度カリ	キュラム・マップ	CO COOL VIEW	1連がある、○関連があ
科目群	科目	主体的に学ぼうとする力	協同的に学び合う力	知識・技能	思考力・判断力・表現
教	教育原理 保育原理			0	0
的育に・	子ども家庭福祉!			0	0
関保	子ども家庭福祉 II (独自科目)			0	0
す育	社会福祉 子ども家庭支援論			0	0
るの料本	社会的養護!			0	0
田 質	社会的養護 II 保育者論	0		0	0
21 ·	教育職論			0	0
Ħ	教育制度			0	0
理教	発達心理学 子ども家庭支援の心理学			0 0	0
解 育	子ども理解の理論と方法				0
に ・ 関 保	教育心理学			0	0
群す育	特別支援基礎論 保効小連携基礎論			0 0	0
るの科対	保幼小連携総論	0			0
日象	教育・保育学特講Ⅰ			0	0
	教育・保育学特講 II 教育課程論	0		0	0
	保育カリキュラム論				ŏ
	保育内容総論			0	0
	保育内容指導法 (健康) 保育内容指導法 (人間関係)	© ©			0
	保育内容指導法(環境)	0			0
	保育内容指導法(言葉)	0			0
	保育内容指導法 (表現) 国語科教育法			0	0
	社会科教育法			0	0
	算数科教育法			0	0
	理科教育法 生活科教育法	<b>+</b>		0	0
	音楽科教育法	1	1	0	0
	図画工作科教育法			0	0
	家庭科教育法 体育科教育法			0 0	0
	英語科教育法	1	1	0	0
	道徳教育の指導法			0	0
	特別活動・総合的な学習の時間の指導法	1		0 0	0
李女	生徒・進路指導論 教育の方法		<del> </del>	0	0
育	幼児と健康	<u> </u>	<u> </u>	0	0
	幼児と人間関係			0	0
保育	幼児と環境 幼児と言葉			0 0	0
0	幼児と表現	1		0	
內	国語			0	0
器	社会 算数			0 0	0
カ	理科			0	0
法	生活			0	0
(= [24]	音楽 図画工作			0	0
-g-	家庭			0	0
る	体育			0	0
科 目	英語 幼児音楽 I A			0	0
君羊	幼児音楽IB	0			
	幼児音楽IIA	©			0
	幼児音楽ⅡB 幼児造形Ⅰ	0			0
	幼児造形 II	0			0
	幼児体育Ⅰ				0
	幼児体育II	0			0
	児童文化 子どもの保健	0		0 0	0
	子どもの健康と安全	0			0
	子どもの食と栄養!			0	0
	子どもの食と栄養 II 障害児保育	0		٥	0
	乳児保育 I			0	0
	乳児保育 II	0			0
	乳児保育Ⅲ(独自科目) 教育相談A			0	0
	教育相談B	1		0	
	子育で支援	0			0
	医療保育			0	0
	医療保育 II 多文化共生保育・教育論			0	0
	特別支援教育論			0	0
別	知的障害児の心理・生理・病理	<u> </u>		0	0
支	肢体不自由児の心理・生理・病理 病弱児の心理・生理・病理	1		0	0
<b>主</b> 300	知的障害教育論I			0	
教育	知的障害教育論Ⅱ			0 0	0
<b>声</b>	肢体不自由教育論   肢体不自由教育論	1		0 0	0
[20]	病弱教育論			0	Ö
す	視覚障害児の心理・生理・病理			0	0
る 料	聴覚障害児の心理・生理・病理 発達障害の理解			0	0
Ħ	視覚障害教育論			0	0
君羊	聴覚障害教育論			0 (	0
	重複障害等教育論 教育実習 I		<b> </b>	0	0
	教育実習	0	<b> </b>		0
	教育実習Ⅲ	٥			0
	教育実習IV 教育実習 V	0			0
	教育実習指導 I	0	1		0
	教育実習指導 II				0
体	教育実習指導 III 教育実習指導 IV	0	<b>.</b>		0
馬尖	教育実習指導V 教育実習指導V	0	1		0
nje	教職実践演習(幼・小)	0			0
절명 제작	保育実習 I (保育所) 保育実習 I (施設)	0	<b>.</b>		0
#4 E	保育実習 I (施設) 保育実習 II	0			0
君羊	保育実習Ⅲ	©			0
	保育実習指導 I (保育所)	٥			0
	保育実習指導 I (施設) 保育実習指導 II	0			0
	保育実習指導Ⅲ	0			0
	保育実践演習		0		
	学校インターンシップ指導	0			0
	学校インターンシップ 海外幼児教育インターンシップ	0	1		0
A-SE	総合演習IA	÷	0		
· 総	総合演習IB		0		
平 研 台	総合演習 II A 総合演習 II B	0	0		<u> </u>
発をな	卒業研究演習	0	8		
一 学	卒業研究演習 II 卒業研究	9	0		

# 〇国際教養こども学科

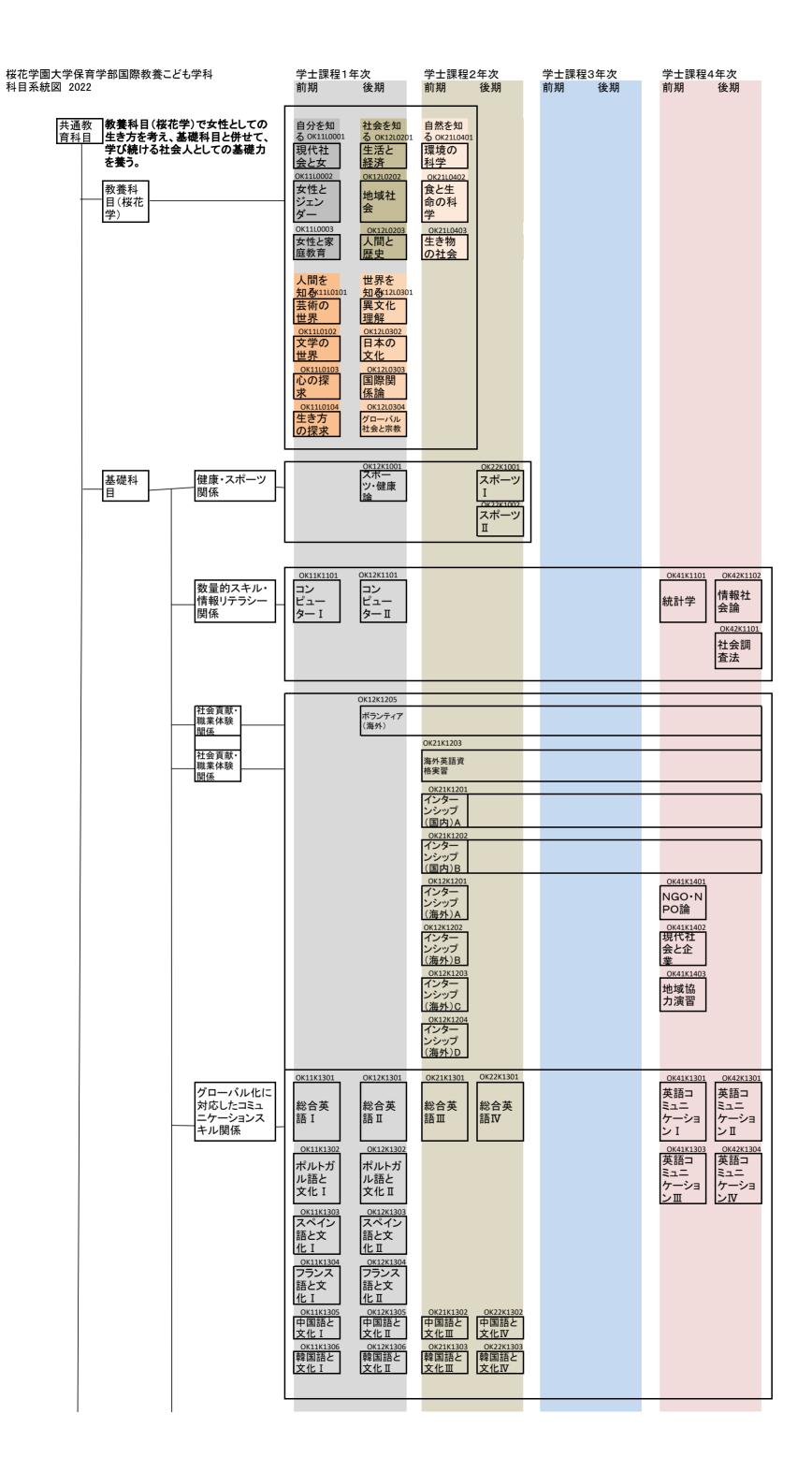
分		授業科目	ナンバリングコード	1年		2年		3年		4年		1. 国際社会 で活躍する ために必要 な幅広い視 野と知識と教 養	育の比較を 通して身につ く、自らのよ り望ましい保	3. 国内外で の乗研と中 の乗研的に り身に り身に りませる りまする 思 決する 思 決 ま も り と に り と に り に り に り に り に り と り と り と	4. 多文化共 生さる子ともと 保護を行うのに 及要文化 必要文化 の び容能力 の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	5. グロー・スル時代に日語及びときません。 が国語を中心を表する。 が国語をしたよる。 ミュニケー ション能力
				前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期					
		保育原理	0K11S0001	0								0	0			$\vdash$
		教育原理	0K12S0002		0							0	0			
		子ども家庭福祉	0K12S0003		0	ļ						0	0			
		社会福祉	0K11S0004	0		ļ					ļ	0	0			ļ
		子ども家庭支援論 社会的養護 I	0K22S0005 0K21S0006			0	0					0	0			<del> </del>
		社会的養護Ⅱ	0K22S0007		-	<del></del>	0						0		0	+
		保育者論	0K12S0008		0		Ť				_	0	0			<del>                                     </del>
		教育制度	0K41S0009	1	1	1				0		0	0			
		発達心理学	0K11S0010	0								0	0			
		子ども家庭支援の心理学	0K22S0011			ļ	0				ļ	0	0			ļ
		子ども理解の理論と方法	0K21S0012		<del> </del>	0	ļ					0				ļ
	- 1	教育心理学 特別支援基礎論	0K42S0013 0K21S0014		<del> </del>	0	ļ				0	0	0			
		保育カリキュラム論	0K42S0015		<b></b>						0	0	0			+
		保育内容総論	0K11S0016	0							Ŭ	0	0			<b>†</b>
	Ī	保育内容指導法 (健康)	0K22S0101				0						0		0	
		保育內容指導法(人間関係)	0K22S0102				0						0		0	
		保育內容指導法(環境)	0K12S0103	ļ	0	ļ				ļ			0	ļ	0	ļ
3		保育内容指導法 (言葉)	0K12S0104	ļ	0	ļ				<b></b>	ļ		0		0	ļ
٤ ا		保育内容指導法(表現)	0K22S0105	<b> </b>	-	-	0				-		0	-	0	+
· ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		教育の方法 幼児と健康	0K21S0017 0K21S0201	<del> </del>		0						0	0	<b> </b>	<b> </b>	<del> </del>
す		幼児と人間関係	0K21S0201	-		0					-	0	0			<del>                                     </del>
乖		幼児と環境	0K11S0003	0		Ť						0	0			
E	∃	幼児と言葉	0K11S0004	0								0	0			
		幼児と表現	0K21S0005			0						0	0			
		幼児音楽A	0K11S0006	0		ļ	ļ				ļ		0		0	ļ
	ŀ	幼児音楽B	0K12S0007		0	<u> </u>							0		0	
		幼児音楽 C 幼児音楽 D	0K21S0011 0K22S0012		-	0	0						0		0	<del> </del>
		幼児造形A	0K11S0008	0							-		0		0	<del> </del>
		幼児造形B	0K12S0009		0		<b></b>				<u> </u>		0		0	1
	- 1	幼児体育A	0K11S0010	0									0		0	<b>T</b>
		幼児体育B	0K12S0011		0								0		0	
		児童文化	0K411S012							0		0			0	ļ
	ŀ	子どもの保健	0K21S0018		ļ	0					ļ	0	0		<u> </u>	
		子どもの健康と安全	0K22S0019		-		0						0		0	-
	- 1	子どもの食と栄養 障害児保育	0K21S0020 0K22S0021			0	0				-	© <b>©</b>	0		0	
事		乳児保育 I	0K22S0021				0					0	0		-	+
明		乳児保育Ⅱ	0K41S0023							0			0		0	†
)	ľ	教育相談	0K42S0024	-							0	0	0			
4		子育て支援	0K41S0025							0			0		0	
i 📙	_	海外の保育	0K21S0301			0	L				ļ	0	0		0	-
·		多文化共生研究	0K11S1001	0	ļ		<u> </u>				ļ	0			0	<del> </del>
		地域研究Ⅰ オーストラリア 地域研究Ⅱ 日本	0K22S1002 0K11S1003	0			0					0			0	
		地域研究Ⅲ ヨーロッパ	0K21S1004		-	0	<u> </u>					0			0	+
		地域研究IV アフリカ	0K21S1005			0						0			0	1
		地域研究V アジア	0K22S1006	1			0					0			0	1
国		地域研究VI アメリカ	0K21S1007			0						0			0	
防		ことばのメカニズム	0K41S1101		ļ					0		0				0
老		Teaching English for Children	0K11S1201			0									0	0
養		チームビルディング実践 Study Abroad Preparation	0K21S1102	0											0	0
A	4	Study Abroad Freparation Basic Communication in English I	0K11S1103	0								0				0
		Basic Communication in English II	0K12S1104		0		-				<del> </del>	0				0
		Intermediate Communication in English I	0K21S1105			0	<b></b>				-	0				0
		Intermediate Communication in English II	0K22S1106	1			0					0				0
		海外語学研修	0K33S1302					0	0			0		0		0
		海外保育留学	0K33S1303					0	0			0	0		0	ļ
		国際教養総論	0K41S1304							0	<u> </u>	0		0	0	
	- 1	教育実習入門	0K12S2001 0K22S2003		0		0						0	0	0	+
		教育実習 I 教育実習 II	0K42S2005		-		-				0		0	0	0	┼
		教育実習指導 I	0K21S2002		<b></b>	0					<u> </u>		0	0	0	<del> </del>
		教育実習指導 Ⅱ	0K41S2004	1						0	1		0	0	0	1
		教職実践演習(幼)	0K42S2006								0		0	0	0	
美	E. 1	保育実践演習	0K41S2109	ļ						0			0	0	0	ļ
習		保育実習 I (保育所)	0K32S2102		-				0	ļ			0	0	0	<del> </del>
和	34	保育実習I(施設)	0K32S2104		-				0				0	0	0	+
E	a 1	保育実習Ⅱ 保育実習Ⅲ	0K41S2106		-	-				0	-		0	0	0	+
	- 1	保育実習III 保育実習指導 I (保育所)	0K41S2108 0K32S2101	<del> </del>	<del> </del>	<del>                                     </del>			0				0	0	0	+
		保育実習指導 I (施設)	0K32S2101	<del> </del>	<b></b>	<del> </del>			0			l	0	0	0	<b>†</b>
		保育実習指導Ⅱ	0K41S2105	İ	<b></b>	†	<b></b>			0	<b></b>	1	0	0	0	1
		保育実習指導Ⅲ	0K41S2107							Ō			0	0	0	
		海外保育フィールド・スタディ	0K11S2201	○→	0							0	0	0	0	0
		海外幼児教育インターンシップ	0K12S2202		0							0	0	0	0	0
ï		総合演習A	0K21S3001			0						0	0	0	0	0
星	꿯	総合演習B	0K22S3002		-		0			_	-	0	0	0	0	0
乖	4	卒業研究演習 I 卒業研究演習 II	0K41S3101 0K42S3102	<del> </del>		<del> </del>				0		0	0	0	0	0
	∄ .	卒業研究員 Ⅱ 卒業研究	0K42S3102 0K42S3103	<del> </del>	ł	<del> </del>	<b></b>				0	0	0	0	0	0

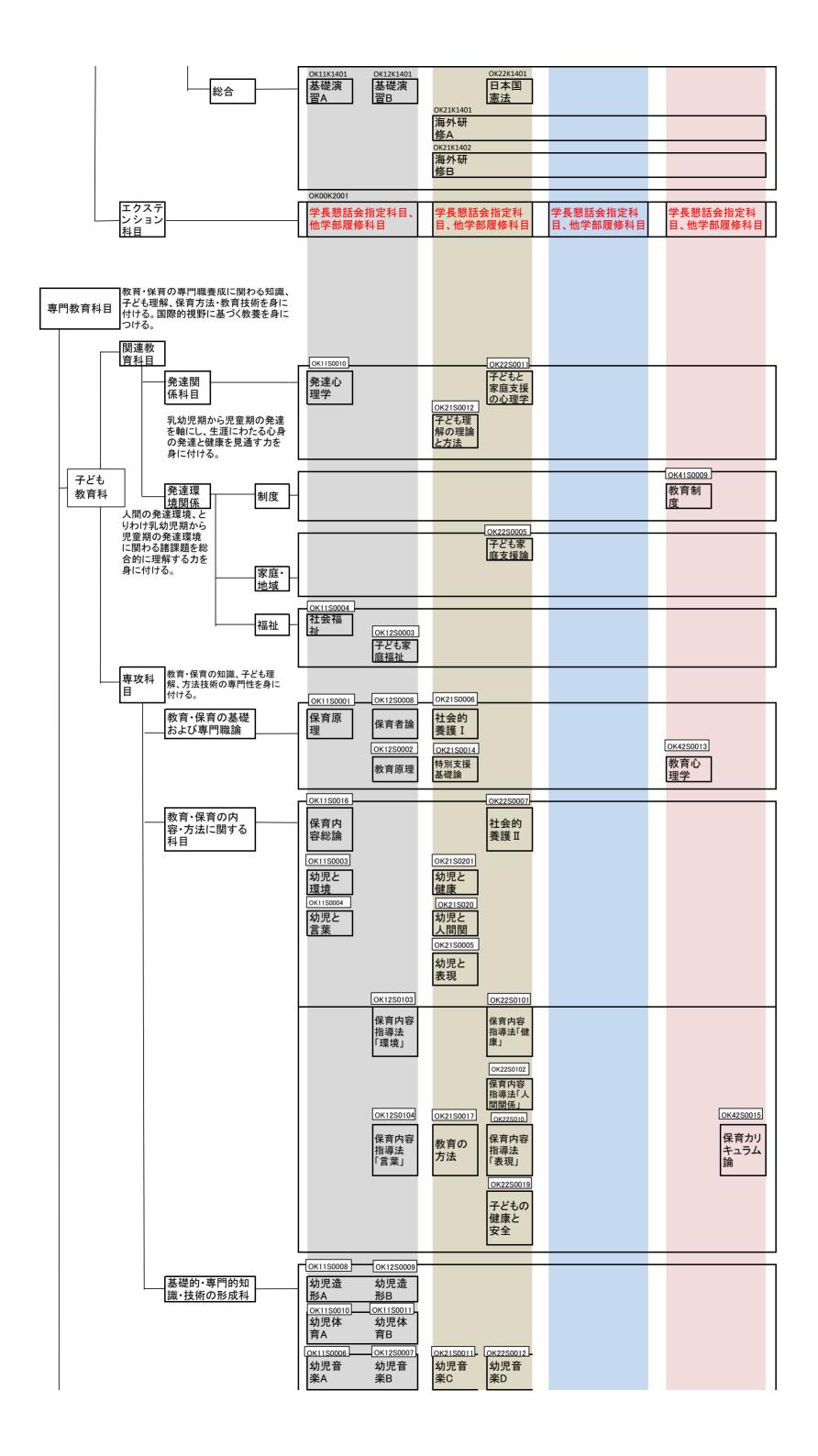


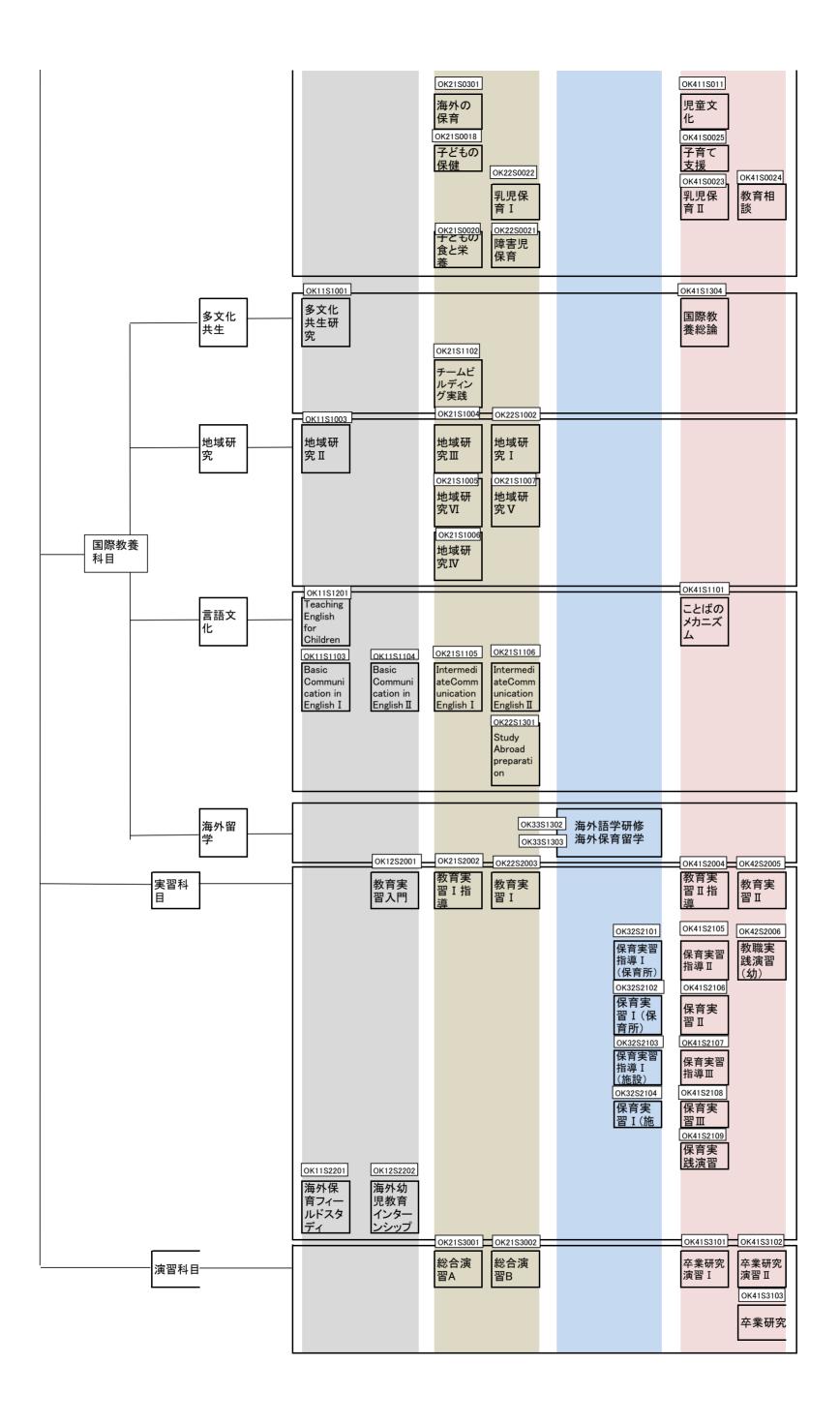


OH22S0205 OH21S0207 算数科教 算数 育法 OH41S0201 OH42S0204 OH21S0201 特別活 道徳教 動·総合 生徒・進 的な学習 育の指 路指導 の時間の 導法 論 指導法 OH41S020 OH11S0204 OH12S0203 OH22S0203 OH31S0205 OH32S0206 OH42S0201 OH21S0205 保育内容 幼児音楽 幼児音楽 幼児と表 幼児音楽 幼児音楽 音楽科 指導法 音楽 教育法 ΙΑ IΒ IΙΑ IΙΒ (表現) OH11S0205 OH21S0209 OH22S0207 OH31S0206 OH32S0207 OH12S0204 幼児体育 幼児造形 幼児体育 幼児造形 区画工 図画工作 作 科教育法 Π Π OH21S0210 OH31S0204 OH32S0205 児童文 体育科教 体育 化 育法 OH31S0201 OH32S0202 保育内容 幼児と健康 指導法(健 康) OH31S0207 OH32S0208 子どもの 子どもの 健康と安 保健 全 OH42S0202 OH32S0209 OH41S0203 OH31S0208 子どもの 子どもの 家庭科 食と栄養 食と栄養 家庭 教育法 OH22S0208 OH31S0209 OH41S0205 乳児保育 乳児保育 乳児保育 Π Ш OH42S0205 OH41S0206 子育て支 教育相 談A OH42S0206 教育相 談B OH22S0209 OH31S0210 OH32S0210 医療保育 医療保育 障害児保 OH22S0301 特別支援 OH41S0302 発達障害 の理解 教育論 OH31S0301 OH32S0301 OH41S0303 知的障害 知的障害 知的障害 児の心 教育論I 教育論Ⅱ |理•生理• OH3150302 OH3250302 OH42S0301 OH41S0303 |肢体不自 肢体不自 肢体不 特別支援教育 由児の心 重複障害 由教育論 自由教 に関する科目 理•生理• 等教育論 育論Ⅱ 病理 OH32S0303 OH31S0303 病弱児の 病弱教育 心理·生 理•病理 視覚障害 聴覚障 害児の 児の心 心理•生 哩"土理" 病理 理∙病理 OH42S0303 OH31S0305 聴覚障 視覚障害 教育論 害教育 OH11S1001 OH12S1001 OH32S1002 教育実習 教育実習 教育実習 指導 I 指導Ⅲ OH42S1002 OH32S1001 教職実 教育実習 践演習 Ш (幼・小) OH41S1002 OH31S1003 OH32S1003 OH22S1002 学校イン 教育実習 学校インター 教育実習 指導Ⅱ ンシップ指導 ターンシップ 指導Ⅳ OH4151001 教育実習 OH2251001 教育実習 Ι IV OH41S1003 教育実習 OH42S1001 教育実 指導Ⅴ 習V

習科目	OH12S1002 海外幼児 教育イン ターンシッ プ	OH2251004  保育実習 指導 I (施設) OH2251003  保育実習 I (施設)  海外幼児 教中イン タップ	GH3151002 保育実習 指導 I (保育所) OH3151001 保育実習 I (保育所) 施外幼児 教令イン ターン シップ	OHA1S1006  保育実習 指導Ⅱ OH41S1004  保育実習 Ⅱ OH41S1007  保育実習 指導Ⅲ OH41S1005  (R育実習 Ⅲ  (R育実習 Ⅱ (R育実習 Ⅲ (R育実習) (R育実] (R育実
総合的な学修・研 窓科目		OH21S2001       OH22S2001         総合演習IA       総合演習IB	OH31S2001 OH32S2001 総合演習 II A II B	OH41S2001       OH42S2001         卒業研究 演習 I       卒業研 究演習 OH42S2002         本業研       公共2S2002







# 免許状・資格等の取得(保育学科)

# I. 幼稚園教諭1種免許状の取得

本学で教育職員免許の幼稚園教諭1種免許状の取得をする場合、学士の学位を取得し、以下の指定する保育学部保育学科の基礎教育科目並びに専門教育科目を履修しなければなりません。

#### 1. 基礎資格

学士の学位を有すること。

2. 基礎教育科目での履修(教育職員免許法施行規則に定める科目)

免許法施行規則に定める科目及び単位数			数	必要な 単位数	
科目	単位	科目	単位	単位	
日本国憲法	2	日本国憲法	2	2	
		スポーツ健康論	2	1	
育	2	スポーツ I	1	1	
		スポーツⅡ	単位 2	1	
外国語コミュニケーション	2	総合英語 I	1	2	
外国前コミューグーション	Δ	総合英語Ⅱ	1	Δ	
<b>連邦機界の場</b> 佐	0	コンピュータ I	1		
情報機器の操作	2	コンピュータⅡ	1	2	

### 3. 専門教育科目での履修

a. 領域及び保育内容の指導法に関する科目

	・ 免許法施行規則に定める科目及び単位数	ζ	本学の授業科目と単位	.数	必要な 単位数
区分	科目	単位	科目単		単位
領	健康		幼児と健康	1	
門内以	人間関係		幼児と人間関係	1	
門的事項域に関する	環境		幼児と環境	1	
<b>・</b> 項ス	言葉		幼児と言葉	1	5
専	表現		幼児と表現	1	
	目に含まれる内容を合わせた内容に係る の他上記科目に準ずる内容の科目				
	保育内容総論	16	保育内容総論	2	2
機育を器内	加索的家地道外 (海底)		保育内容指導法 (健康)	2	2
を含む。は器及び教材	保育内容指導法(人間関係)		保育内容指導法(人間関係)	2	2
い。教指 ン材導	保育内容指導法(環境)		保育内容指導法(環境)	2	2
の法活へ			保育内容指導法(言葉)	2	2
	保育内容指導法(表現)		保育内容指導法(表現)	2	2

#### b. 教育の基礎的理解に関する科目

	免許法施行規則に定める科目及び単位数	本学の授業科目と単位	数	必要な 単位数	
区分	科目	単位	科目	単位	単位
教	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思		教育原理	2	2

(育の基礎的理解に関する科)	想 教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。) 教育に関する社会的、制度的又は経営的事 項(学校と地域との連携及び学校安全への 対応を含む。) 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習 の過程 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生 徒に対する理解 教育課程の意義及び編成の方法(カリキュ ラム・マネジメントを含む。)	. 10	保育者論 教育制度 教育心理学 特別支援基礎論 保育カリキュラム論	2 2 2 1 2	2 2 2 1 2
の指導法及 神談等	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の 活用を含む。)		教育の方法	2	2
に関する指	幼児理解の理論及び方法	4	子ども理解の理論と方法	2	2
科導の 目 教間 育等	教育相談(カウンセリングに関する基礎的 な知識を含む。)の理論及び方法		教育相談A	1	1
教育実践に	教育実習学校体験活動	7	教育実習指導Ⅱ 教育実習指導Ⅲ 教育実習Ⅲ 教育実習Ⅲ	1 1 1 3	6
関	教職実践演習		教職実践演習(幼・小)	2	2

c. 大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分等		本学の授業科目と単位数		必要な 単位数
		科目	単位	単位
		発達心理学	2	
		保幼小連携基礎論	1	
	14	保幼小連携総論	1	
大学が独自に設定する科目		児童文化	2	<b>※</b> 1
八子が独日に放足りる村日		幼児音楽 I A	2	<b>%</b> 1
		幼児音楽 I B	2	
		幼児造形 I	1	
		幼児体育 I	1	

※1「大学が独自に設定する科目」と最低修得単位を超えて履修した「領域及び保育内容の指導法に関する 科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育 相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて14単位以上を修得

### Ⅱ. 小学校教諭1種免許状の取得

本学で小学校教諭1種免許状の取得をする場合、学士の学位を取得し、以下の指定する保育学部保育学科の基礎教育科目並びに専門教育科目を履修するとともに、「介護等の体験」を行わなければなりません。

### 1. 基礎資格

学士の学位を有すること。

2. 基礎教育科目での履修(教育職員免許法施行規則に定める科目)

免許法施行規則に定める科目及び単位数		本学の授業科目と単位数		必要な 単位数
科目	単位	科目	単位	単位
日本国憲法	2	日本国憲法	2	2
体育		スポーツ健康論	2	1
	2	スポーツ I	1	1
		スポーツⅡ	1	
<b>外国語コミューケーション</b>	2	総合英語 I	1	2
外国語コミュニケーション		総合英語Ⅱ	1	
情報機器の操作	2	コンピュータ [	1	2
		コンピュータⅡ	1	

\*幼稚園教諭1種免許状と共通ですので、重複して履修する必要はありません。

### 3. 専門教育科目での履修

a. 教科及び教科の指導法に関する科目

免許法施行規則に定める科目及び単位数		本学の授業科目と単位	拉数	必要な 単位数	
区分	科目	単位	科目	単位	単位
	国語(書写含む。)		国語	1	
教	社会		社会	1	
科に	算数		算数	1	
関	理科		理科	1	
すっ	生活		生活	1	
る 専	音楽		音楽	1	10
門	図画工作		図画工作	1	. 10
的 事	家庭		家庭	1	
項	体育		体育	1	
	外国語		英語	1	
	び教科の指導法に関する科目における複 項を合わせた内容に係る科目				
各 教	国語科教育法	30	国語科教育法	2	2
科	社会科教育法		社会科教育法	2	2
の 指 導	算数科教育法		算数科教育法	2	2
導法(	理科教育法		理科教育法	2	2
一を合	生活科教育法		生活科教育法	2	2
(情報機	音楽科教育法		音楽科教育法	2	2

器及	図画工作科教育法	図画工作科教育法	2	2
	家庭科教育法	家庭科教育法	2	2
材	体育科教育法	体育科教育法	2	2
の 活	英語科教育法	英語科教育法	2	2

#### b. 教育の基礎的理解に関する科目

免許法施行規則に定める科目及び単位数		Ţ	本学の授業科目と単位	数	必要な 単位数
区分	科目	単位	科目	単位	単位
	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思 哲		教育原理	2	2
の 基	教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)		教育職論	2	2
礎 的 目理	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	10	教育制度	2	2
解に	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習 の過程	10	教育心理学	2	2
関す	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生 徒に対する理解		特別支援基礎論	1	1
る 科	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュ ラム・マネジメントを含む。)		教育課程論	2	2
道 <sub>生</sub> 徳	道徳の理論及び指導法		道徳教育の指導法	2	2
生徒指導、	総合的な学習の時間の指導法		特別活動・総合的な学習の	2	2
導のなった	特別活動の指導法		時間の指導法		
教育 育習	教育の方法及び技術		教育の方法	2	2
教育相談等に関いな学習の時間等の	情報通信技術を活用した教育の理論及び方 法	10	ICT活用の理論と方法	1	1
寺間 に等	生徒指導の理論及び方法		生徒・進路指導論	2	2
の指導	教育相談(カウンセリングに関する基礎		教育相談A	1	1
と関する科目等の指導法及	的な知識を含む。)の理論及び方法		教育相談B	1	1
び	進路指導及びキャリア教育の理論及び方 法		W		
教			教育実習指導Ⅱ	1	
す育	教育実習		教育実習指導IV	1	_
る実 科践		7	教育実習Ⅱ 教育実習Ⅳ	1 3	6
目に	学校体験活動				
関	教職実践演習		教職実践演習(幼・小)	2	2

<sup>\*</sup>幼稚園教諭1種免許状との共通科目は、重複して履修する必要はありません。

#### C. 大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分等		本学の授業科目と単位数		必要な
		科目	単位	単位
大学が独自に設定する科目	9	学校インターンシップ指導	1	<b>%</b> 1
八子//3四日に設定りる行日	2	学校インターンシップ	1	<b>%</b> 1

※1「大学が独自に設定する科目」と最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学修の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて2単位以上を修得

# Ⅲ. 特別支援学校教諭1種免許状(知的障害者・肢体不自由者・病弱者)の取得

本学で特別支援学校教諭1種免許状(知的障害者・肢体不自由者・病弱者)の取得をする場合、小学校教諭1種免許状を取得見込みであり、以下の指定する保育学部保育学科の専門教育科目を履修しなければなりません。

特別支援教育に関する科目

免許法施行規則に定める科目及び単位数		本学の授業科目と単位数		必要な 単位数	
区分	科目	単位	科目	単位	単位
特	別支援教育の基礎理論に関する科目	2	特別支援教育論	2	2
特別	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の		知的障害児の心理・生理・ 病理	2	
別支援	心理、生理及び病理に関する科目		肢体不自由児の心理・生 理・病理	2	
教			病弱児の心理・生理・病理	2	
科育目領		16	知的障害教育論 I	2	16
域			知的障害教育論Ⅱ	2	- - -
に 関	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の 教育課程及び指導法に関する科目		肢体不自由教育論 I	2	
す			肢体不自由教育論Ⅱ	2	
る			病弱教育論	2	
な免のる許			視覚障害児の心理・生理・ 病理	1	
の領域の領域に対対に対対に対対に対対に対対に対対が対対に対対が対対に対対が対対が対対が対対が	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の 心理、生理及び病理に関する科目		聴覚障害児の心理・生理・ 病理	1	
に援から		5	発達障害の理解	1	6
			視覚障害教育論	1	
科域こ	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の 教育課程及び指導法に関する科目		聴覚障害教育論	1	
甲以と外と	J.,		重複障害等教育論	1	
心身に	障害のある幼児、児童又は生徒について	3	教育実習指導V	1	3
の教育	実習	ა	教育実習V	2	

### IV. 保育士資格の取得

本学で保育士資格を取得する場合、児童福祉法施行規則(指定保育士養成施設指定基準)に定める次の要件を充たすよう基礎教育科目並びに専門教育科目を履修しなければなりません。

# 1. 基礎教育科目での履修

指定保育士養成施設指定基準における要件		本学の授業科目と単位数		必要な 単位数	
系列	教 科 目	単位	教 科 目	単位	単位
			現代社会と女性	2	
			女性と家庭教育	2	2以上
			女性とジェンダー	2	
	外国語、体育以外の科目	6以上	コンピュータ I	1	4
教			コンピュータⅡ	1	
教 養 科			基礎演習 I	1	
科			基礎演習Ⅱ	1	
目	外国語	2以上	総合英語 I	1	2以上
	/下型 印		総合英語Ⅱ	1	
	体育 (講義)	1	スポーツ健康論	2	2
	休育 (宝坛)	1	スポーツ I	1	1以上
	体育(実技) 1	1	スポーツⅡ	1	16人工

# 2. 専門教育科目での履修

#### a. 告示別表第1による科目

指定保育士養成施設指定基準における要件		本学の授業科目と単位数		必要な 単位数	
系列	教 科 目	単位	教 科 目	単位	単位
66 /D	保育原理	2	保育原理	2	2
的保 に育	教育原理	2	教育原理	2	2
関の	子ども家庭福祉	2	子ども家庭福祉 I	2	2
す本	社会福祉	2	社会福祉	2	2
る質	子ども家庭支援論	1	子ども家庭支援論	2	2
科・ 目目	社会的養護 I	2	社会的養護 I	2	2
H H	保育者論	2	保育者論	2	2
盟象	保育の心理学	2	発達心理学	2	2
すの保	子ども家庭支援の心理学	2	子ども家庭支援の心理学	2	2
る理の	子どもの理解と援助	1	子ども理解の理論と方法	2	2
関する科目象の理解に保育の対	子どもの保健	2	子どもの保健	2	2
目化	子どもの食と栄養	2	子どもの食と栄養I	2	2
	保育の計画と評価	2	保育カリキュラム論	2	2
	保育内容総論	1	保育内容総論	2	2
			保育内容指導法 (健康)	1	1
保 育			保育内容指導法(人間関係)	1	1
	保育内容演習	5	保育内容指導法 (環境)	1	1
Ø			保育内容指導法 (言葉)	1	1
内 容			保育内容指導法(表現)	1	1
•			幼児と健康	1	1
方			幼児と人間関係	1	1
法	保育内容の理解と方法	4	幼児と環境	1	1
に 関			幼児と言葉	1	1
     			幼児と表現	1	1

る	乳児保育 I	2	乳児保育 I	2	2
る 科	乳児保育Ⅱ	1	乳児保育Ⅱ	1	1
目	子ども健康と安全	1	子ども健康と安全	1	1
	障害児保育	2	障害児保育	2	2
	社会的養護Ⅱ	1	社会的養護Ⅱ	1	1
	子育て支援	1	子育て支援	1	1
	保育実習I	4	保育実習I(保育所)	2	2
保育実習			保育実習I(施設)	2	2
休月夫首	保育実習指導 I	2	保育実習指導I(保育所)	1	1
	体月天白拍导 1		保育実習指導I(施設)	1	1
総合演習	保育実践演習	2	保育実践演習	2	2

### b. 告示別表第2による科目

指定保育士養成施設指定基準における要件		本学の授業科目と単位数	必要な 単位数	
系 列	単位	教 科 目	単位	単位
保育の本質・目的に関する科目	7-1	教育制度	2	
MIN OUT A HEAVEN / VIII		教育心理学	2	
保育の対象の理解に関する科目		特別支援基礎論	1	
		保幼小連携基礎論	1	
		保幼小連携総論	1	
		保育内容指導法 (健康)	1	
		保育内容指導法(人間関係)	1	
	15以上	保育内容指導法(環境)	1	
		保育内容指導法(言葉)	1	
		保育内容指導法(表現)	1	
保育の内容・方法に関する科目		幼児音楽 I A	1	9以上
体育の自合・方伝に関する行音		幼児音楽 I B	1	
		幼児造形 I	1	
		幼児体育 I	1	
		児童文化	1	
		子どもの食と栄養Ⅱ	1	
		乳児保育Ⅲ	1	
保育実習Ⅱ又は保育実習Ⅲ	2	保育実習Ⅱ	2	
休月天百Ⅱ入は休月天百Ⅲ	۷	保育実習Ⅲ	Δ	
保育実習指導Ⅱ又は保育実習指導Ⅲ	1	保育実習指導Ⅱ	1	
	1	保育実習指導Ⅲ	1	

#### 注意事項

幼稚園教諭1種免許状、小学校教諭1種免許状、特別支援学校教諭1種免許状、保育士資格を取得するためには、各免許状、資格が定める所定の科目(上記Ⅰ.Ⅱ.Ⅲ.Ⅳを確認のこと)を履修し、単位の認定を受けなければなりません。

本学では、実習に関する科目の履修資格、単位の認定等について、「桜花学園大学保育学部 教職課程及び指定保育士養成施設の指定および運営の基準に定める教育課程の履修に関する細則(以下「細則」という)を定めています(『履修の手引き』の末尾に掲載)。

実習は、学外で行う体験学習科目です。学生のみなさんは、『履修の手引き』の「保育学部シラバス」及び上記「細則」をよく読んで、実習に関する科目を履修してください。

#### V. 幼稚園教諭専修免許状、小学校教諭専修免許状の取得

保育学部を卒業後、本学大学院人間文化研究科人間科学専攻に進学し修士の学位を取得し、取得を希望する免許課程の科目を履修し、所定の単位を修得した場合、幼稚園教諭専修免許状および小学校教諭 専修免許状を取得することが出来ます。

- 1. 基礎資格 修士の学位を取得すること。
- 2. 基礎要件 幼稚園教諭1種免許または小学校教諭1種免許を取得していること。
- 3. 取得を希望する免許課程における履修すべき科目と修得を必要とする最低単位数は 教科又は教職に関する科目24単位以上。

# 免許状・資格等の取得(国際教養こども学科)

# I. 幼稚園教諭1種免許状の取得

本学で教育職員免許の幼稚園教諭1種免許状の取得をする場合、学士の学位を取得し、以下の指定する保育 学部国際教養こども学科の基礎教育科目並びに専門教育科目を履修しなければなりません。

#### 1. 基礎資格

学士の学位を有すること。

2. 基礎教育科目での履修(教育職員免許法施行規則に定める科目)

免許法施行規則に定める科目及び単位数		本学の授業科目と単位数		必要な 単位数
科目	単位	科目	単位	単位
日本国憲法	2	日本国憲法	2	2
体育	2	スポーツ健康論	2	1
		スポーツ I	1	1
		スポーツⅡ	1	
<b>外国語っこ。一た、ミノーン</b>	2	総合英語 I	1	2
外国語コミュニケーション	4	総合英語Ⅱ	1	
<b>建却操即</b> の提 <i>作</i>	2	コンピュータ [	1	2
情報機器の操作		コンピュータⅡ	1	

# 3. 専門教育科目での履修

a. 領域及び保育内容の指導法に関する科目

免許法施行規則に定める科目及び単位数		本学の授業科目と単位数		必要な 単位数	
区分	科目	単位	科目	単位	単位
領	健康		幼児と健康	1	
門以	人間関係		幼児と人間関係	1	
的関	環境		幼児と環境	1	
門的事項。域に関する	言葉		幼児と言葉	1	5
専	表現		幼児と表現	1	
	目に含まれる内容を合わせた内容に係る の他上記科目に準ずる内容の科目				
	保育内容総論	16	保育内容総論	2	2
機育を器内			保育内容指導法(健康)	2	2
を含む。)器及び教材の	保育内容指導法(人間関係)		保育内容指導法(人間関係)	2	2
<sup>い</sup> 。教指 ・ 材導	保育内容指導法(環境)		保育内容指導法(環境)	2	2
の法	保育内容指導法(言葉)		保育内容指導法(言葉)	2	2
	保育内容指導法(表現)		保育内容指導法(表現)	2	2

#### b. 教育の基礎的理解に関する科目

免許法施行規則に定める科目及び単位数		本学の授業科目と単位数		必要な 単位数	
区分	科目	単位	科目	単位	単位
教	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思		教育原理	2	2

育の基礎的理解に関する科	想 教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。) 教育に関する社会的、制度的又は経営的事 項(学校と地域との連携及び学校安全への 対応を含む。) 幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習 の過程 特別の支援を必要とする幼児、児童及び生 徒に対する理解 教育課程の意義及び編成の方法(カリキュ ラム・マネジメントを含む。)	10	保育者論教育制度教育心理学特別支援基礎論保育カリキュラム論	2 2 2 1 2	2 2 2 1 2
相導、 談法総	教育の方法及び技術(情報機器及び教材の 活用を含む。)		教育の方法	2	2
等に関する指	幼児理解の理論及び方法	4	子ども理解の理論と方法	2	2
科導の目、時	教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。) の理論及び方法		教育相談	1	1
教育実践に	教育実習学校体験活動	7	教育実習指導 I 教育実習指導 II 教育実習 I 教育実習 II	1 1 2 2	6
関	教職実践演習		教職実践演習(幼)	2	2

### C. 大学が独自に設定する科目

佐谷田則に会めて利日区八年		本学の授業科目と単位	L数	必要な
施行規則に定める科目区分等		科目	単位	単位
		発達心理学	2	
大学が独自に設定する科目		教育実習入門	1	<b>※</b> 1
		児童文化	2	
	14	多文化共生研究	2	
		幼児音楽A	1	
		幼児音楽B	1	
		幼児造形A	1	
		幼児造形B	1	
		幼児体育A	1	
		幼児体育B	1	

※1「大学が独自に設定する科目」と最低修得単位を超えて履修した「領域及び保育内容の指導法に関する 科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育 相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて14単位以上を修得

# Ⅱ.保育士資格の取得

本学で保育士資格を取得する場合、児童福祉法施行規則(指定保育士養成施設指定基準)に定める次の要件を充たすよう基礎教育科目並びに専門教育科目を履修しなければなりません。

# 1. 基礎教育科目での履修

指定保育士養成施設指定基準における要件		本学の授業科目と単位数		必要な 単位数	
系列	教 科 目	単位	教 科 目	単位	単位
			現代社会と女性	2	
			女性とジェンダー	2	2以上
			女性と家庭教育	2	
	外国語、体育以外の科目	6以上	コンピュータI	1	
教			コンピュータ Ⅱ	1	
養	<del>核</del>		基礎演習 I	1	
教 養 科 目			基礎演習Ⅱ	1	
	外国語	2以上	総合英語 I	1	2以上
	クト国語 	2以上	総合英語Ⅱ	1	
	体育(講義)	1	スポーツ健康論	2	2
(本本 (字共)	休奈 (宝坛)	1	スポーツ I	1	1以上
	体育(実技)	1	スポーツⅡ	1	1以上

### 2. 専門教育科目での履修

### a. 告示別表第1による科目

指定係	戻育士養成施設指定基準における	要件	本学の授業科目と単位数		必要な 単位数
系列	教 科 目	単位	教 科 目	単位	単位
的保	保育原理	2	保育原理	2	2
に育	教育原理	2	教育原理	2	2
関の	子ども家庭福祉	2	子ども家庭福祉	2	2
す本	社会福祉	2	社会福祉	2	2
る質	子ども家庭支援論	2	子ども家庭支援論	2	2
科・ 目目	社会的養護 I	2	社会的養護 I	2	2
нн	保育者論	2	保育者論	2	2
関象	保育の心理学	2	発達心理学	2	2
関象保育	子ども家庭支援の心理学	2	子ども家庭支援の心理学	2	2
る理り	子どもの理解と援助	1	子ども理解の理論と方法	2	2
- 3 - 4 - 4 - 4 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7 - 7	子どもの保健	2	子どもの保健	2	2
目に <sup>刈</sup>	子どもの食と栄養	2	子どもの食と栄養	2	2
	保育の計画と評価	2	保育カリキュラム論	2	2
	保育内容総論	1	保育内容総論	2	2
			保育内容指導法(健康)	1	1
保				1	1
育	保育内容演習	5	保育内容指導法 (環境)	1	1
<i>の</i>			保育内容指導法 (言葉)	1	1
内 容			保育内容指導法(表現)	1	1
•			幼児と健康	1	1
方			幼児と人間関係	1	1
法	保育内容の理解と方法	4	幼児と環境	1	1
に 関			幼児と言葉	1	1
当す			幼児と表現	1	1

る	乳児保育 I	2	乳児保育 I	2	2
科	乳児保育Ⅱ	1	乳児保育Ⅱ	1	1
目	子ども健康と安全	1	子どもの健康と安全	1	1
	障害児保育	2	障害児保育	2	2
	社会的養護Ⅱ	1	社会的養護Ⅱ	1	1
	子育て支援	1	子育て支援	1	1
	保育実習 I	1	保育実習I(保育所)	2	2
保育実習	体月天日 1	4	保育実習I(施設)	2	2
休月夫百	保育実習指導 I 2	0	保育実習指導I(保育所)	1	1
		保育実習指導I(施設)	1	1	
総合演習	保育実践演習	2	保育実践演習	2	2

#### b. 告示別表第2による科目

指定保育士養成施設指定基準における要件		本学の授業科目と単位数		必要な 単位数
系 列	単位	教 科 目	単位	単位
保育の本質・目的に関する科目		教育制度	2	
		教育心理学	2	
		海外の保育	2	
保育の対象の理解に関する科目		特別支援基礎論	1	
		保育内容指導法 (健康)	1	
		保育内容指導法(人間関係)	1	
	15以上	保育内容指導法(環境)	1	
		保育内容指導法 (言葉)	1	
		保育内容指導法(表現)	1	
		幼児音楽A	1	9以上
┃ ┃ 保育の内容・方法に関する科目			幼児音楽B	1
休月の行行 万仏に関する行口		幼児造形A	1	
		幼児造形B	1	
		幼児体育A	1	
		幼児体育B	1	
		児童文化	2	
   保育実習Ⅱ又は保育実習Ⅲ	2	保育実習Ⅱ	2	
	2	保育実習Ⅲ	۷	
保育実習指導Ⅱ又は保育実習指導Ⅲ	1	保育実習指導Ⅱ	1	
WHYTHAT VISWHYTHAM	1	保育実習指導Ⅲ	1	

#### 注意事項

幼稚園教諭1種免許状、保育士資格を取得するためには、各免許状、資格が定める所定の科目(上記 I. Ⅱを確認のこと)を履修し、単位の認定を受けなければなりません。

本学では、実習に関する科目の履修資格、単位の認定等について、「桜花学園大学保育学部 教職課程及び指定保育士養成施設の指定および運営の基準に定める教育課程の履修に関する細則(以下「細則」という)を定めています(『履修の手引き』の末尾に掲載)。

実習は、学外で行う体験学習科目です。学生のみなさんは、『履修の手引き』の「保育学部シラバス」及び上記「細則」をよく読んで、実習に関する科目を履修してください。

#### V. 幼稚園教諭専修免許状

保育学部を卒業後、本学大学院人間文化研究科人間科学専攻に進学し修士の学位を取得し、取得を希望する免許課程の科目を履修し、所定の単位を修得した場合、幼稚園教諭専修免許状を取得することが出来ます。

- 1. 基礎資格 修士の学位を取得すること。
- 2. 基礎要件 幼稚園教諭 I 種免許または小学校教諭 I 種免許を取得していること。
- 3. 取得を希望する免許課程における履修すべき科目と修得を必要とする最低単位数 教科又は教職に関する科目 24単位以上。